

※コンテンツ1件につき5～10分程度の動画となっております。

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
1	介護における日常の実技講習 動画数：30本 合計動画時間：1時間10分38秒	ベッド上での移動	平行移動	ベッド上での平行移動の実施方法について	1:58	○	○		
2			上方移動	ベッド上での上方移動の実施方法について	3:06	○	○		
3			仰臥位⇒側臥位	ベッド上での仰臥位⇒側臥位の実施方法について	2:58	○	○		
4			仰臥位⇒側臥位⇒端座位	ベッド上での仰臥位⇒側臥位⇒端座位の実施方法について	1:32	○	○		
5			端座位⇒立位	端座位⇒立位への実施方法について	1:55	○	○		
6		歩行・車いすでの移動	歩行・車いすでの移動	歩行介助	杖を利用する方の歩行、階段上り下りの介助方法について	2:06	○	○	
7				車いす移動～平地	車いすへの移乗、車いす移動時の注意点について	3:15	○	○	
8				車いす移動～坂道	車いすでの坂道昇降時の注意点について	1:50	○	○	
9		更衣	更衣	ゆかた：全介助	ゆかたの着替え実施方法について：全介助	2:37	○	○	
10				前開き服：一部介助	前開き服の着替え実施方法について：一部介助	3:17	○	○	
11				前開き服：全介助	前開き服の着替え実施方法について：全介助	3:35	○	○	
12				丸襟：一部介助	丸襟の着替え実施方法について：一部介助	1:49	○	○	
13				丸襟：全介助	丸襟の着替え実施方法について：全介助	2:41	○	○	
14		食事	食事	座位	座位姿勢の食事介助の実施方法について	1:59	○	○	
15				仰臥位	仰臥位での食事介助の実施方法について	1:53	○	○	
16		排泄	排泄	おむつ・パット交換	おむつ・パット交換の実施方法について	3:13	○	○	
17				ポータブルトイレ	ポータブルトイレを活用した排泄時の実施方法について	3:10	○	○	
18				差し込み便器	差し込み便器利用時の実施方法について	2:35	○	○	
19				立ちおむつ	立位でのおむつパット交換の実施方法について	1:46	○	○	
20		清潔	清潔	洗髪	ベッド上での洗髪の実施方法について	2:40	○	○	
21				陰部洗浄	ベッド上での陰部洗浄方法について	1:57	○	○	
22				手浴	ベッド上での手浴方法について	2:57	○	○	
23				足浴	端座位での足浴方法について	2:09	○	○	
24				全身清拭	ベッド上での全身清拭 ※利用者モデルがシャツを着ておりますが、実際の清拭は裸に対して実施します。	2:55	○	○	
25		ストレッチ/トレーニング	ストレッチ/トレーニング	口腔ケア	歯ブラシを活用した口腔ケアの実施方法について	1:39	○	○	
26				首周りをほぐす	首周りをほぐすストレッチ方法について	1:37	○	○	
27				肩周りをほぐす	肩周りをほぐすストレッチ方法について	1:55	○	○	
28				足と足首をほぐす	足と足首をほぐすストレッチ方法について	1:59	○	○	
29				上半身を鍛える	上半身を鍛える簡単なトレーニング方法について	1:23	○	○	
30			下半身を鍛える	下半身を鍛える簡単なトレーニング方法について	2:12	○	○		
31	介護職員向け基礎知識 実技研修 動画数：192本 合計動画時間：18時間12分55秒	食事介助	食事介助の目的（1）グループディスカッション	食事介助の目的について考える。様々な利用者像を想定しながら介助方法を考える。	1:39	○	○		
32			食事介助の目的（2）	食事介助の4つの目的について学ぶ。	4:30	○	○		
33			寝たきりの方に対する食事介助	寝たきりの利用者に対する必要な用具・介助のポイントや留意点。	5:20	○	○		
34		片麻痺のある方に対する食事介助	片麻痺のある利用者に対する必要な用具・介助のポイントや留意点。	5:14	○	○			
35		誤嚥・誤飲の予防と対応	誤嚥しやすい姿勢・衣類・ひと口量の把握、嚥下の時間・プロセスについて学ぶ（誤嚥・誤飲とは）。	7:38	○	○			
36	移乗・移動介助及び体位変換	移乗・移動介助及び体位変換	安全で安楽な介護をするための基本(1)	介護者の安定した姿勢の確保、広い基底面積の確保・重心の容易な移動について学ぶ。	6:11	○	○		
37			安全で安楽な介護をするための基本(2)	介護者の力の有効活用、利用者との距離・てこの原理を応用・全身の筋群を活用する。	6:27	○	○		
38			安全で安楽な介護をするための基本(3)	介護しやすい「場」の設定、介護しやすい空間や環境整備・利用者の身体状況に合わせた介護について学ぶ。	8:11	○	○		
39			基本姿勢と応用姿勢	立位・仰臥位・側臥位・腹臥位とは？ファウラー位・セミファウラー位・シムス位とは？	7:51	○	○		
40			移送・移動の目的及び効果（1）	ヒトが移動・移送する目的を考える、目的に対する効果は？	1:02	○	○		
41			移送・移動の目的及び効果（2）	移乗・移動介助及び体位変換	6:55	○	○		
42			車イスからの移送	車イス利用者に対する移乗介助のポイント、車いす利用者に対する移送介助のポイントを学ぶ。	6:57	○	○		
43			日常の基本動作（実技）	私たちが日常生活において無意識に行っている動作について学ぶ。	1:17	○	○		
44			視覚障がい者等に対する支援（実技）	視覚からの情報収集が困難な利用者に対する介助方法、適切な言葉かけについて学ぶ。	2:24	○	○		
45			イスからの立ち上がり及び座り方（実技）	椅子に座った利用者に対する立ち上がりの介助ポイント（自立支援）、利用者の頭の動きに合わせた介助方法を学ぶ。	2:19	○	○		
46			起居動作と移乗支援（実技）	ベッドからの起き上がり・端座位姿勢・車イスまでの移乗方法について、適切な言葉かけ・自立支援を意識した介護方法を学ぶ。	4:41	○	○		

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
47	<p>介護職員向け基礎知識 ・ 実技研修</p> <p>動画数：192本 合計動画時間：18時間12分5秒</p>	移乗・移動介助及び体位変換	シーティング（正しい座位姿勢）（実技）	車イス利用者の正しい座位姿勢にするための介助方法について、適切な言葉がけ・自立支援を意識した介護方法を学ぶ。	2:37	○	○		
48			動画数13本、合計動画時間数60:12	ベッド上でのずれ力（実技）	電動ベッド操作時における利用者にかかるスカの負荷、皮膚のズレによる違和感の開放方法について学ぶ。	3:20	○	○	
49		排泄介助トイレ介助・ポータブルトイレ介助・オムツ交換等	動画数10本、合計動画時間数48:34	排泄介助の目的と基本姿勢（1）グループディスカッション	排泄介助の目的について考える、利用者の思いを介護者に置き換えて介助方法を考える。	2:40	○	○	
50				排泄介助の目的と基本姿勢（2）	排泄の目的から介助を受ける立場を考える、排泄介助の要望があった際には迅速な対応が必要な意味とは？	3:16	○	○	
51				排泄介助の目的と基本姿勢（3）	排泄介助の4つの基本姿勢について、自然排泄に対する満足感や自立支援・利用者の心身面への影響・病気の早期発見につなげる。	4:13	○	○	
52				排尿と排便について	排尿の意味、尿意を感じるメカニズムや正常な一日の排尿回数、排便の意味、食べ物摂取後から排便までのプロセスについて学ぶ。	4:48	○	○	
53				尿と便の異常	排尿・排便障害の種類とその状態を学ぶ。	5:40	○	○	
54				排泄介助のポイント（トイレ）	トイレまでの誘導・移動やトイレ内での動作についてアセスメントの重要性を学ぶ、アセスメントの結果とトイレ介助のポイントを学ぶ。	4:44	○	○	
55				排泄介助のポイント（ポータブルトイレ）	ポータブルトイレを使用する場合のアセスメント・プライバシー保護の重要性を学ぶ、アセスメントの結果とポータブルトイレ介助のポイントを学ぶ。	5:51	○	○	
56				排泄介助のポイント（おむつ交換）	おむつを使用する利用者に対するアセスメント・プライバシー保護の重要性を学ぶ、おむつ装着時における股関節の可動域制限・感染症予防についてのポイント。	6:32	○	○	
57				排泄介助のポイント（おむつ交換・実技）		7:38	○	○	
58				ベッド上での体位変換（実技）		利用者には自立支援を目的とした残存機能の活用を意識した言葉がけ、体位変換時は利用者への緊張を感じさせることなく、介護者においても安楽な姿勢での重心移動のポイントについて学ぶ。	3:12	○	○
59		入浴介助・清拭・整容	動画数12本、合計動画時間数62:45	入浴介助の目的・効果（1）グループディスカッション	排泄介助の目的について考える（全身の清潔ケアとして・機能訓練の場にもなる事）、入浴の効果について学ぶ（3つの作用）。	1:16	○	○	
60				入浴介助の目的・効果（2）		6:49	○	○	
61				入浴介助のポイント	入浴の可否判断・排泄介助を済ませておく、温度管理・一人当たりの入浴時間・入浴後の水分補給の重要性について学ぶ。	7:36	○	○	
62				入浴の方法と手順の留意点（1）	入浴方法として一般浴・ミスト浴・機械浴（ストレッチャー式）・シャワー浴などの種類と対象利用者について学ぶ。湯をかけるにあたっての留意点について学ぶ。	8:32	○	○	
63				入浴の方法と手順の留意点（2）	入浴種類に対する対象利用者への介助方法について学ぶ（自立支援）、機械浴槽使用時の事故防止や更衣に対する留意点を学ぶ。	10:56	○	○	
64				清拭の目的(1)グループディスカッション	入浴ができない時の清拭の目的について考える。	0:55	○	○	
65				清拭の目的(2)	利用者の精神的な作用・臭いやかゆみの予防・皮膚のマッサージによる精神的リラクゼーションにも奇与することを学ぶ。	3:41	○	○	
66				清拭の効果	清拭の効果を知ることによって感染予防・悪臭予防・全身観察による皮膚疾患の早期発見につながることを学ぶ。コミュニケーションの時間の共有や食欲増進など心身の爽快感を持つことを学ぶ。	4:43	○	○	
67				清拭（全身清拭）の手順と留意点	全身清拭を例にした手順および清拭の際の留意点を学ぶ。	7:40	○	○	
68				整容の目的と効果（1）グループディスカッション	ADLのひとつである整容の目的について考える、整容とはどのようなことを示すのか？	1:46	○	○	
69		整容の目的と効果（2）	整容の目的は居室から出ればコミュニティ空間であることから必要性が高いことを学ぶ、毎日の生活リズムを整える必要性についても併せて学ぶ。	3:46	○	○			
70		整容の目的と効果（3）	ついつい後回しになりがちな整容介助について学ぶ、整容の効果と併せて自立支援につなげることを考えた介助であることを学ぶ。	5:05	○	○			
71		口腔ケア	動画数8本、合計動画時間数42:11	口腔ケアの目的（1）グループディスカッション	口腔ケアの目的について考える（予防や生活の資質の向上になる事）、高齢者の口腔ケアの重要性について学ぶ。	1:04	○	○	
72				口腔ケアの目的（2）		5:30	○	○	
73				口腔ケアのポイント	口腔ケアについて6つのポイントを理解し、目的と照らし合わせた実施方法を学ぶ。	5:41	○	○	
74				口腔ケアのポイント（ブラッシングについて）	歯ブラシなどを利用したブラッシングの意義や義歯を使用している利用者に対する留意点・ブラッシングは歯のついつとつを丁寧に行うことを学ぶ。	5:29	○	○	
75				口腔ケアのポイント（体位について）	口腔ケアの基本は洗面所において実施すること、ベッド上でやむを得ず実施する場合や片麻痺のある方など誤嚥防止に努めることを踏まえ、様々な体位での留意点を学ぶ。	7:50	○	○	
76				口腔ケアのポイント（歯ブラシについて）	歯ブラシの使用にあたっての留意点を学ぶ、利用者の状態に合わせた歯ブラシの加工方法や保管に対する衛生面について学ぶ。	4:50	○	○	
77				状態に合わせた口腔ケア	ベッド上で寝たきりの方・片麻痺のある方・認知症の方など利用者の心身状況に合わせた口腔ケアのポイントについて学ぶ。	6:55	○	○	
78				ベッド上での口腔ケア（ブラッシング他・実技）	ベッド上でのブラッシング方法について実践例から学ぶ、特に舌（ぜつ）の汚れについて適切に除去する方法を学び口腔内の衛生を維持する重要性を学ぶ。	4:52	○	○	
79				身体的拘束廃止に向けて（1）	介護施設において、原則として身体的拘束は禁止であることを理解する、一方でやむを得ず行う場合もあることを学ぶ。	3:59	○	○	
80				身体的拘束廃止に向けて（2）グループディスカッション		1:04	○	○	
81		身体的拘束廃止に向けて（3）（適用範囲）	やむを得ず身体的拘束を行う場合の3つの適用範囲について学ぶ、3つの適用範囲を把握し慎重に行うことを学ぶ。	2:31	○	○			
82		身体的拘束廃止に向けて（4-①）（責任・担当）グループディスカッション	身体的拘束を実施する際の許可判断・記録・中止判断基準やその責任者や担当者をあらかじめ施設等で定めておくことを学ぶ、そのためにはチームで介護していることをあらためて認識することを学ぶ。	1:44	○	○			
83		身体的拘束廃止に向けて（4-②）（責任・担当）		5:21	○	○			
84		身体的拘束に該当する具体的な行為（1）グループディスカッション	身体的拘束の具体的な行為について、日常の業務を振り返る機会も含めて洗い出しを行う。	0:45	○	○			
85		身体的拘束に該当する具体的な行為（2）	厚生労働省が示している身体的拘束に該当する11項目について具体的に学ぶ、11項目以外でも身体的拘束に当てはまるものはないだろうか、カンファレンスの機会を設けることの必要性を学ぶ。	5:32	○	○			
86		身体的拘束に該当する具体的な行為（3）		6:33	○	○			
87		身体的拘束廃止に向けた業務の手順（1）	日常業務を通して身体的拘束の要否を検討したり、ミニカンファレンスの場においてチームで意見を出し合うことを学ぶ。	3:31	○	○			
88		身体的拘束廃止に向けた業務の手順（2）	必ず多職種（チーム）でのカンファレンスで検討し、施設におけるガイドラインの作成・家族等への説明と同意・拘束の実施・中止の判断・詳細な記録の重要性を学ぶ。	7:43	○	○			
89		緊急時における一時的身体的拘束の実施基準（1）グループディスカッション	厚生労働省の実施基準である3つの項目について学ぶ。	1:44	○	○			
90		緊急時における一時的身体的拘束の実施基準（2）	身体的拘束の実施基準は、厚生労働省が示す3つの要件を満たさなければならないこと、3つの要件について項目名称と内容について理解すること。	3:20	○	○			
91		身体的拘束廃止委員会の目的・活動	身体的拘束廃止委員会設置の目的について学ぶ、委員会活動の集大成として年1回のガイドライン（指標）の見直しを行うこと、委員構成は各部課より1名以上の選出で構成すること、委員会の議事録の作成の重要性を学ぶ。	5:05	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職
92	高齢者虐待について 動画数8本、合計動画時間数41:43	高齢者虐待について	高齢者虐待とは（１）	高齢者の定義や虐待者の定義について認識の確認を行う。	1:31	○	○	
93			高齢者虐待とは（２）	高齢者とは？虐待者とは？（養護者および養介護施設従事者）について学ぶ。	5:01	○	○	
94			高齢者虐待の種類と内容	高齢者虐待防止法で定める５つの類型があることに加えて、それぞれの内容について学ぶ。	6:47	○	○	
95			高齢者虐待される側の要因（１）	虐待される側の要因・虐待する側の要因について、グループディスカッションを通して検討（想定）する。	1:13	○	○	
96			高齢者虐待される側の要因と虐待する側の要因について、よく聞かれる内容について認識する。	6:11	○	○		
97			高齢者虐待の対応・手順	虐待の対応についての手順を理解しチームで対応することや学ぶ、通報・情報集約・調査の実施・ケース会議・指置対応なども踏まえた支援を行えるよう日常的に施設としてのバックアップ体制を整えておくことを学ぶ。	9:52	○	○	
98			高齢者虐待の発見と方策	虐待が表面化しづらい現状の中で高齢者は何らかのサインを発していることを学ぶ、虐待される側・虐待する側のそれぞれの思いを汲み取ることも介護者として必要な観察力が求められることを学ぶ。	5:23	○	○	
99			養介護施設従事者としての対応	養介護施設従事者は、虐待の事実を確認した場合・事実確認はしていないが疑いがあると思ったら迷わずに市町村や地域包括支援センターに通報義務があることを学ぶ。疑いで通報しても通報者にペナルティを課せられることはないことに加えて、高齢者虐待防止法の根幹は高齢者（要介護者）を守ることであることをあらためて認識する。	5:45	○	○	
100			服薬管理 動画数11本、合計動画時間数45:18	服薬管理	服薬管理の目的（１）	服薬管理の目的とは？手段も含めて話し合いを行い日常業務の振り返りの機会とする。	1:46	○
101	服薬管理の目的（２）	服薬管理を適切に行うことで、利用者の健康管理と安心した生活を提供できることを学ぶ、薬の飲み忘れを防止することで必要に応じてスムーズな病院受診につなげることを理解する。			3:53	○	○	
102	服薬管理の目的・手段	薬の処方医師・歯科医師のみが行うことができること、処方箋をもとに薬局に提出し協力体制を整えておくことでひとまとめにしてもらうなど、介護職員においても服薬支援がスムーズになることを学ぶ。			4:36	○	○	
103	服薬管理の責任・担当者	処方箋の発行から医薬品の管理・実際の与薬介助に至るまで、誰がどのように管理するのが担当者などを明確にしておくことを学ぶ。			6:28	○	○	
104	服薬介助の手順（１）グループディスカッション	処方箋の発行から医薬品の管理・実際の与薬介助に至るまで、誰がどのように実施するのかを日常業務と照らし合わせてマニュアルを確認する。			1:23	○	○	
105	服薬介助の手順（２）	処方箋の発行から医薬品の管理・実際の与薬介助に至るまで、誰がどのように実施するのかを明確にし、誤薬防止も含めて適切な服薬介助が可能となるような仕組みづくりを学ぶ。			6:45	○	○	
106	服薬のタイミング（１）	食前・食後・食間・就寝前などの服薬時間帯について、グループで話し合いを行い意見交換をしやすい雰囲気も兼ねて考える。			0:58	○	○	
107	服薬のタイミング（２）	グループディスカッションの結果の確認とともに、食事前・食後・食間・就寝前とは食事時間に対してどのタイミングで服用することが望ましいのか学ぶ。			4:29	○	○	
108	誤薬防止について（１）	誤薬とは？どのようなことを示すのかあらためて様々なパターンがあることを認識する。			1:44	○	○	
109	誤薬防止について（２）	誤薬事故が発生しないようにするためには、どのような対応が必要であるのかパターンごとに対応を考える時間とする。			7:13	○	○	
110	誤薬事故発生時の対応について	万一、事故が発生した場合の対応について手順とともに報告のタイミング並びに同じような事故を起こさないようにするための原因究明とともに対策を施設全体で考える機会とする。	6:03	○	○			
111	介護職員向け基礎知識 実技研修 動画数：192本 合計動画時間：18時間12分5秒	褥瘡予防対策	褥瘡の要因（１）グループディスカッション	褥瘡の定義並びに褥瘡発症の要因について認識の確認を行う。	1:09	○	○	
112			褥瘡の要因（２）	褥瘡の要因について学ぶ、また褥瘡発症防止のための対策について学ぶ。	5:15	○	○	
113			高齢者における褥瘡の特徴	褥瘡の発症は血行障害が原因であるが、高齢者における発症例や特徴について学ぶ。	4:59	○	○	
114			褥瘡の進行過程	褥瘡の進行過程について５段階で示しそれぞれの段階がどのような状態であるのかを学ぶ。	7:27	○	○	
115			褥瘡のできやすい部位	仰臥位・側臥位・腹臥位・座位姿勢において褥瘡の好発部位について学ぶ。	8:35	○	○	
116			褥瘡の予防方法と対策	予防には利用者の全身観察と発症を予測することとして観察ポイントや好発部位の予測について学ぶ介護職員のみならず他職種連携で対応することが重要であることを理解する。	5:02	○	○	
117			褥瘡の予防道具（１）	褥瘡予防に対して道具だけに頼らないこと、使用目的として全身用と局所用があることを理解し褥瘡予防のための道具の一例を参考にする。	4:29	○	○	
118			褥瘡の予防道具（２）	褥瘡予防道具のむやみな活用は生活不活発病を招くことを認識する、利用者一人ひとりのアセスメントの重要性と体圧分散やスレカに対する背抜きなどを学ぶ。	5:37	○	○	
119			老いに生じる現象（グループディスカッション）	生理的・心理的・社会的老化現象について老いとはどのようなことなのか？空欄を埋めながら意見交換の場とすることで日常的に意見交換ができるような職場風土にもつなげる。	3:23	○	○	
120			老いに生じる現象	ヒトは加齢とともに各組織や臓器に変化が生じ機能の低下が見られる。心理的な面では身体的低下や知的能力の低下を自覚するなど老いを自覚することで様々な現象があることを学ぶ。	3:40	○	○	
121	生理的老化現象（１）	神経系・循環器・呼吸器について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	8:07	○	○			
122	生理的老化現象（２）	消化器・腎臓・血液・運動器について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	9:54	○	○			
123	心理的老化現象（１）	老化の自覚について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	5:53	○	○			
124	心理的老化現象（２）	知的能力の低下について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ記憶のメカニズムについて学ぶ。	6:25	○	○			
125	社会的老化現象	社会での変化について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	5:29	○	○			
126	ADL：日常生活動作について	日常業務でも使用しているADLについて、あらためて理解・認識する機会とする。	3:39	○	○			
127	食事について	食事に関する一般的な特徴について学ぶ。	7:17	○	○			
128	健康生活のための食事の援助	食事に関する健康生活のための援助について6つの項目とその具体的な内容について学ぶ。	6:43	○	○			
129	排せつについて	排せつに関する一般的な特徴について学ぶ。	9:17	○	○			
130	健康生活のための排せつの援助	排せつに関する健康生活のための援助について9つの項目とその具体的な内容について学ぶ。	6:52	○	○			
131	睡眠について	睡眠に関する一般的な特徴について学ぶ。	4:07	○	○			
132	健康生活のための睡眠の援助	睡眠に関する健康生活のための援助について7つの項目とその具体的な内容について学ぶ。	6:27	○	○			
133	運動について	運動に関する一般的な特徴について学ぶ。	5:30	○	○			
134	健康生活のための運動の援助	運動（活動）に関する健康生活のための援助について5つの項目とその具体的な内容について学ぶ。	5:47	○	○			
135	清潔について	清潔に関する一般的な特徴について学ぶ。	4:43	○	○			
136	健康生活のための清潔の援助	清潔に関する健康生活のための援助について5つの項目とその具体的な内容について学ぶ。	5:01	○	○			
137	高齢者の病気の兆候	12箇の頭文字から病気の兆候を学ぶ、12項目について早期発見が早期治療につながることを学ぶ。	9:01	○	○			
138	症状の特徴	病気に対する症状について4つのポイントから学ぶ。	4:04	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職		
139	認知症及び認知症ケア	認知症及び認知症ケア	認知症の定義	認知症の広義の意味と介護保険法での定義について異なっている点を学ぶ、認知症の意味・意義について学ぶ。	5:18	○	○			
140			一次的要因	アルツハイマー型・脳血管性・レビー小体型認知症について、それぞれの特性や症状について学ぶ。	6:09	○	○			
141			一次的要因の割合	一次的要因の割合について円グラフから学び、どの認知症の割合が多いのかを把握する、認知症の症状を起こす共通点について学ぶ。	6:47	○	○			
142			二次的要因	身体状態・精神状態・生活環境状態・廃用性要因に対する内容を理解する、認知症が疑われる際の対応について学ぶ。	7:19	○	○			
143			認知症の主な症状	知的能力の低下・心の症状と行動障害・ADLの低下・身体の障害に対する主な症状について学ぶ。	11:17	○	○			
144			認知症の理解（中核症状と行動・心理症状）	脳細胞の死滅によって中核症状が見られるようになり、生活環境を取り巻く内容によって現れる行動・心理症状（BPSD）について、それぞれの違いを学ぶ。	5:43	○	○			
145			認知症の人と接するときの心構え	共通の対応として認知症利用者の言動について否定をしないことを前提に、認知症の方の心理的症状などを学ぶ。	7:12	○	○			
146			認知症の方への接するポイント	6つのポイントを列挙しており、認知症の方との接し方を一般的な対応として学ぶ。	7:18	○	○			
147			認知症ケアの実際（1）	食事・更衣・入浴・排泄・環境の項目に対して具体的な対応策を学ぶ。	6:42	○	○			
148			認知症ケアの実際（2）	物忘れ・思い込み・夜間せん妄・徘徊の項目に対して具体的な対応策を学ぶ。	7:43	○	○			
149			介護職員との接遇	接遇とは？対人行動におけるもっとも重要なコミュニケーション技法であることを学ぶ。	6:55	○	○			
150			高齢者サービスの接遇	高齢者サービスの接遇	第1条 表情・身だしなみ・挨拶	介護職員としての利用者対応10か条として、「身だしなみ・挨拶・表情」に対するポイントを学ぶ。	4:13	○	○	
151					第2条 応対態度	介護職員としての利用者対応10か条として、「応対態度」に対するポイントを学ぶ。	6:18	○	○	
152					第3条 説明・理解	介護職員としての利用者対応10か条として、「説明・理解」に対するポイントを学ぶ。	6:33	○	○	
153					第4条 周りの目・耳への配慮	介護職員としての利用者対応10か条として、「周りの目・耳への配慮」に対するポイントを学ぶ。	7:29	○	○	
154					第5条 物の渡し方・言葉添え	介護職員としての利用者対応10か条として、「物の渡し方・言葉添え」に対するポイントを学ぶ。	7:28	○	○	
155					第6条 謝罪の姿勢	介護職員としての利用者対応10か条として、「謝罪の姿勢」に対するポイントを学ぶ。	5:56	○	○	
156					第7条 聞く姿勢	介護職員としての利用者対応10か条として、「聞く姿勢」に対するポイントを学ぶ。	6:33	○	○	
157					第8条 言葉づかい	介護職員としての利用者対応10か条として、「言葉づかい」に対するポイントを学ぶ。	7:55	○	○	
158	第9条 プラスαの配慮	介護職員としての利用者対応10か条として、「プラスαの配慮」に対するポイントを学ぶ。			6:19	○	○			
159	第10条 まわりへの配慮	介護職員としての利用者対応10か条として、「まわりへの配慮」に対するポイントを学ぶ。			6:07	○	○			
160	介護職員向け基礎知識 ・ 実技研修	介護職員向け基礎知識 ・ 実技研修	応対の基礎ポイント（1）	表情の果たす役割とともに優しい安心感のある表情づくりについて学ぶ。	6:28	○	○			
161			応対の基礎ポイント（2）	清潔感ある身だしなみについて、業務前に職員同士で確認しあうことの大切さを学ぶ。	7:01	○	○			
162			応対の基礎ポイント（3）	応対時の基本的な姿勢と態度について、男性と女性では一部において異なることを学ぶ。	6:27	○	○			
163	動画数：192本 合計動画時間：18時間12分5秒	ターミナルケア	ターミナルケアの意味・目的	ターミナルケアの本来の対象者について、ターミナルケア（看取りケア）の目的・目指すところはどのようなことであるかについて学ぶ。	8:27	○	○			
164			身体的特徴	ターミナルケア（看取りケア）を実施する際に見られる身体的特徴について、様々な症状が現れることを学ぶ。	8:43	○	○			
165			精神的特徴	ターミナルケア（看取りケア）を実施する際に見られる精神的特徴について、様々な症状が現れることを学ぶ。	8:32	○	○			
166			ターミナルケアの体制の確立	ターミナルケア（看取りケア）の体制づくりや手順、その際のポイントについて特別養護老人ホームを例に学ぶ。	7:29	○	○			
167			夜間の体制	夜間におけるターミナルケア（看取りケア）の体制づくりとポイントについて特別養護老人ホームを例に学ぶ。	6:05	○	○			
168			家族への支援	利用者への直接的なケアも重要であるが、その家族に対する支援方法について学ぶ、死後に対する対応についても併せて学ぶ。	7:13	○	○			
169			業務手順（1）	ターミナルケア（看取りケア）の内容・担当者・手順について、一般的な業務フローを理解する。	8:35	○	○			
170			業務手順（2）		6:36	○	○			
171			事故発生及び再発防止	事故発生及び再発防止	事故発生時の対応に関する目的	事故（ヒヤリハット）等の事例が発生した際の目的を理解する 同じような事故（ヒヤリハット）事例が起こらないよう業務改善を行うことの重要性を学ぶ。	4:02	○	○	○
172					事故発生時の対応の適用範囲（アクシデントとインシデント）	アクシデントとは？インシデントとは？2つの内容を定義付けし適用範囲を施設（事業所）ごとに定める必要性を学ぶ。	3:01	○	○	○
173	事故発生時の手順（1）	事故発生時のプロセス・担当者・手順について、一般的な業務フローを理解する。			9:13	○	○	○		
174	事故発生時の手順（2）				6:57	○	○	○		
175	事故防止マニュアル作成の目的	職員全員の共通理解の必要性と適切な行動の実践・実践した活動に対する効果測定の必要性を学ぶ。			4:51	○	○	○		
176	介護事故の分類	転倒・転落・誤嚥・介護中の人身事故等、事故が発生する要因を探る。			10:48	○	○	○		
177	介護事故の原因（1）	介護現場における事故の原因について、4つの視点から学ぶ、「防ぐことのできる事故」と「防ぐことのできない事故」があることを学ぶ。			9:44	○	○	○		
178	介護事故の原因（2）	危険要素として職員の技術（スキル）にフォーカスし、事故の3つのタイプを認識する、コンプライアンスを違反するケースが存在することも学ぶ。	8:34	○	○	○				
179	非常災害時の対応	非常災害時の対応	非常災害時の目的等	大規模地震や自然災害・事件・事故などのリスクに対して防災や危機管理体制の必要性を学ぶ。	6:17	○	○	○		
180			基本方針	人命の安全を最優先することを大前提に、防災や危機管理に対するマニュアルの必要性を学ぶ、自助・共助（互助）・公助の関係と連携の重要性を理解する。	7:18	○	○	○		
181			リスクの予見・発生時の行動と心得	リスクとは？リスクの予見・発生時のホウレンソウや人命優先の行動に対する知識を学ぶ。	7:21	○	○	○		
182			災害対策本部・組織図（1）	大規模災害時における災害対策本部の設置・災害時対策班の組織構成などあらかじめ備えておくことの重要性・指揮監督者不在時の代行基準の明確化について学ぶ。	3:54	○	○	○		
183			災害対策本部・組織図（2）		4:45	○	○	○		
184			災害対策班	災害対策班として、通報連絡・初期消火・避難誘導・救出救護などの役割について一般的な例として学ぶ。	6:43	○	○	○		
185			職員の招集・参集基準	災害発生時において通信網が機能しないことを前提に、役職や職員の居住地などを考慮しあらかじめ参集する基準を定めておくことを学ぶ。	9:44	○	○	○		
186			施設・設備・システムの安全対策（グループワークにも活用可）	災害対策本部長の役割について定めておくことやチェックリストの活用によって定期的な点検・整備の必要性を学ぶ。	3:30	○	○	○		
187	防災・危機管理（1）	災害対策本部長は職員に対する防災教育をはじめ意識・啓発・研修を実施する重要性を認識する、防災訓練を例にとりどのような手法があるのかを学ぶ。	6:36	○	○	○				

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
188	介護職員向け基礎知識 実技研修 動画数：192本 合計動画時間：18時間12分5秒	非常災害時の対応	防災・危機管理（2）	定期的な非常災害対策用の資機材を点検・整備を行うことで、防災・危機管理の意識を高める。	3:53	○	○	○	
189			防災・危機管理（3）	対策本部の運営に必要なテントや仕器、発電機・燃料など日常的に備えておくこと、パソコンなどのデジタル化は困難であることからアナログでの情報収集や伝達手段を準備することを学ぶ。	4:14	○	○	○	
190			防災協力協定	近隣住民や自治会等と事前に防災協定を締結しておくことで互いに協力し合える関係づくりの重要性を学ぶ、福祉施設の使命として弱者の受け入れを積極的に行うことの必要性を学ぶ。	6:20	○	○	○	
191			感染症及び食中毒の予防及びまん延防止	感染症について	感染症を引き起こす病原体とは？感染の要因について学ぶ。	5:07	○	○	○
192				感染源について	感染源について学ぶ、感染しても必ずしも発症するとは限らないことを理解する。	5:11	○	○	○
193				感染経路	4つの感染経路について学ぶ、感染経路の要因について理解する。	10:28	○	○	○
194		身近にある感染症（1）風邪		最も一般的な感染症のひとつであること、ヒトは必ず感染症に罹患する一方で、生命に危険を及ぼす感染症があることを学ぶ。	5:55	○	○	○	
195		身近にある感染症（2）ノロウイルス		流行時期・感染経路・症状・経過についてノロウイルスの特性について学ぶ。	7:47	○	○	○	
196		身近にある感染症（3）ノロウイルスの感染経路		ノロウイルスの感染経路について、大きく3つの経路があることを学ぶ	8:00	○	○	○	
197		身近にある感染症（4）ノロウイルスの感染予防策		ウイルスの特性を理解し消毒方法を理解する、施設などでのまん延要素について理解するとともに予防策に対する認識を深める。	6:55	○	○	○	
198		身近にある感染症（5）白癬菌		カビの一種である白癬菌の中で水虫は日本人の1割が感染していることを理解する、白癬菌の感染する部位によって呼び方が異なることを学ぶ。	4:18	○	○	○	
199		身近にある感染症（6）食中毒		食中毒は夏場に多いと思われがちだが一年中において発生することを認識する、食中毒の症状は様々であることを学ぶ。	4:20	○	○	○	
200		日常的な衛生管理（1）		身の回りを清潔に保つことや免疫力を低下させないことが重要であることを学ぶ、そのための手段について学ぶ。	3:49	○	○	○	
201				インフルエンザや風邪を例にし、感染症に罹患しないための予防策について学ぶ。	4:03	○	○	○	
202				食中毒予防の三原則	食中毒に対する予防の三原則について学ぶ。	2:55	○	○	○
203			介護従事者の健康管理	介護従事者として、特に食事の提供を行う者の健康管理について認識する。	3:42	○	○	○	
204			厨房職員の身だしなみ	介護施設を例に、食事を提供する厨房職員に対する身だしなみによって食中毒の発症防止につながることを学ぶ。	5:06	○	○	○	
205			食中毒（感染症）の発生状況の把握	職員が感染症や食中毒の疑いが生じたらすべきこと、罹患の疑いを受けた医師等がすべきことを認識することを学ぶ。	3:39	○	○	○	
206		感染症の拡大（まん延）の防止（1）介護職員	予め定めているマニュアルに従った個別の対応策を行うことを学ぶ、	5:03	○	○	○		
207			介護職員として媒介とならないことや利用者感染した場合の対応を学ぶ。	6:52	○	○	○		
208		感染症の拡大（まん延）の防止（2）医師・看護職員・施設長	予め定めているマニュアルに従った個別の対応策を行うことを学ぶ、医療系の専門職のすべきことや管理者としてすべきことを認識する。	6:52	○	○	○		
209			急変時対応の目的	利用者や家族には安心・安全なサービス提供を行うこと、信頼関係を構築しておく必要性を学ぶ、利用者は日々、状態が変化することを念頭に入れながら介護にあたることを認識する。	4:49	○	○	○	
210		急変時の対応	事故の具体例	事故の具体例を示し、どのようなリスクが生じるのか学ぶ、事故とヒヤリハットの定義づけは各施設（事業所）において行うことを実践するための指標とする。	7:01	○	○	○	
211			日常業務の注意点	介護職員として基本的な医療知識を習得しておくことで、質の高いサービス提供につながることを理解する。「誰かがやるだろう」「私の業務範囲ではない」という考えは、被害を受けるのは利用者であることを学ぶ。	5:58	○	○	○	
212			夜間帯の注意点	夜勤職員に引継ぎを行う場合には、個別のポイントを申し送ることが重要であることを理解する。夜間帯の事故発生時の対応についてあらかじめマニュアルを作成し、マニュアルに沿って実施することの重要性を学ぶ。	6:14	○	○	○	
213			その他の注意点（1）	職員一人ひとりが危機感を持って介護技術を向上すること、事故には「防ぐことができる事故」と「防ぐことができない」事故があり、防ぐことのできる事故について対応策を考えることの重要性を学ぶ。	5:53	○	○	○	
214			その他の注意点（2）	利用者の責任で起こる事故や不可抗力による事故もあること、マニュアルや手順書類は少なくとも年1回の見直しが必要であることを学ぶ。	5:41	○	○	○	
215	事故等が発生した場合の注意点（1）		利用者がむやみに動かすことはNG、利用者の状態を把握することと二次的被害を防ぐことを念頭に対応することを学ぶ。	5:17	○	○	○		
216	事故等が発生した場合の注意点（2）	家族等への連絡の際は、事実のみを伝えることの重要性を認識する、記録方法には5W1Hの活用で時系列に正確に行うことを学ぶ。	6:29	○	○	○			
217	連絡体制	事故が発生した場合には近くの職員に応援要請を行うこと、報告のプロセスについて順序を学ぶ。	7:24	○	○	○			
218	プライバシーの保護の取り組みに関する研修	個人情報保護とプライバシー保護の相違点	個人情報保護とは？プライバシー保護とは？異なる点を理解する個人情報とは個人が特定されることであること、個人情報の漏えいがプライバシーの侵害につながる意味を認識する。	7:02	○	○	○		
219		プライバシー保護の必要性（1）	利用者および家族等のプライバシー保護について、事業所との信頼関係に影響することを理解する、利用者宅（居室）やタンス内の鍵け開め・私物の取り扱いについて同意が必要であることを学ぶ。	8:39	○	○	○		
220		プライバシー保護の必要性（2）	同行者の訪問・個人情報の外部への提供・利用者が落ち着いて過ごせるような環境整備の重要性について学ぶ。	9:37	○	○	○		
221		プライバシー保護の必要性（3）	食事・入浴・排泄などの介助の際に気をつけたいプライバシー保護、羞恥心の配慮、同性介助・利用者の培ってきた習慣やこだわりへの配慮が必要であることを学ぶ。	10:29	○	○	○		
222		プライバシー保護の必要性（4）	利用者や家族の心理的苦痛に配慮すること、個人情報の取り扱いおよび守秘義務、新入職員や実習生等への遵守励行や誓約書の提出などの必要性を学ぶ。	9:10	○	○	○		
223	プライバシー保護の必要性（5）	電話での問い合わせにおいて安易に情報を伝えてはならないこと、全職員に対するプライバシー保護の基本方針の周知についてハード面における建物・設備に対して必要に応じた改善が必要であることを学ぶ。	8:49	○	○	○			
224	医療観点における高齢者の特徴・症状・疾病	老化とは（1）	加齢、寿命、前期老年期、後期老年期の言葉の意味をしり、老化の特徴について学ぶ。	4:14	○	○	○		
225		老化に伴うところとからだの変化	老化とは（2）	老化に伴う、恒常性ホメオスタシス（内部環境を一定に保つ）の影響を理解し、個人差はあるが遺伝、環境	3:44	○	○	○	
226		動画数5本、合計動画時間数33:32	生理的老化の特徴（1）	生理的老化の特徴となる身長・体重の減少や臓器の萎縮の原因について学ぶ。	10:16	○	○	○	
227			生理的老化の特徴（2）	生理的老化の特徴となるホメオスタシスの低下、体温調節、心血管系の反応、内分泌系、感覚器の原因に	6:24	○	○	○	
228		老化現象	老化現象の変化を知り、高齢者に多発し、高齢者に特有な疾患（骨粗鬆症や認知症など）の老年病について	8:54	○	○	○		
229		高齢者に多くみられる症状	高齢者救急の特徴、高齢者の疾患の特徴	高齢者救急の特徴となる、個人差・非定型、複数の慢性疾患、発見の遅れによる重症化などを理解し、観察	7:01	○	○	○	
230	①頭痛がする（ワーク）		高齢者に多くみられる症状、「頭痛」を事例をもとに原因を考えるワーク。	2:03	○	○	○		
231	①頭痛がする（解説）		高齢者に多くみられる症状、「頭痛」を事例をもとに原因を解説する。	4:52	○	○	○		
232	②胸が痛い（ワーク）		高齢者に多くみられる症状、「胸痛」を事例をもとに原因を考えるワーク。	1:46	○	○	○		
233	②胸が痛い（解説）		高齢者に多くみられる症状、「胸痛」を事例をもとに原因を解説する。	4:21	○	○	○		
234	③お腹が痛い（ワーク）		高齢者に多くみられる症状、「腹痛」を事例をもとに原因を考えるワーク。	1:38	○	○	○		
234	③お腹が痛い（解説）	高齢者に多くみられる症状、「腹痛」を事例をもとに原因を解説する。	4:26	○	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
235	医療観点における高齢者の特徴・症状・疾病 動画数：46本 合計動画時間：2時間49分50秒	高齢者に多くみられる症状 動画数11本、合計動画時間数44:45	④腰が痛い（ワーク）	高齢者に多くみられる症状、「腰痛」を事例をもとに原因を考えるワーク。	1:22	○	○		
236			④腰が痛い（解説）	高齢者に多くみられる症状、「腰痛」を事例をもとに原因を解説する。	3:02	○	○		
237			⑥外傷（ワーク）	高齢者に多くみられる症状、「外傷」を事例をもとに原因を考えるワーク。	1:43	○	○		
238			⑥外傷（解説）	高齢者に多くみられる症状、「外傷」を事例をもとに原因を解説する。	4:59	○	○		
239			意識低下（原因）	高齢者に多くみられる疾病、「意識低下」の原因を考える。	4:05	○	○		
240			意識低下（対応）	高齢者に多くみられる疾病、「意識低下」の対応を学ぶ。	2:03	○	○		
241			出血（原因）	高齢者に多くみられる疾病、「出血」の原因を考える。	3:42	○	○		
242			出血（大出血で起こること）	高齢者に多くみられる疾病、「出血」の大出血で起こることを考える。	2:53	○	○		
243			出血（対応）	高齢者に多くみられる疾病、「出血」の対応を学ぶ。	6:28	○	○		
244			鼻出血（原因・対応）	高齢者に多くみられる疾病、「鼻出血」の原因・対応を考え、学ぶ。	3:32	○	○		
245			喀血・吐血（原因）	高齢者に多くみられる疾病、「喀血・吐血」の原因を考える。	1:35	○	○		
246			喀血・吐血（対応）	高齢者に多くみられる疾病、「喀血・吐血」の対応を学ぶ。	3:02	○	○		
247			下血・不正出血（原因・対応）	高齢者に多くみられる疾病、「下血・不正出血」の原因・対応を考え、学ぶ。	6:00	○	○		
248			医療観点における高齢者の特徴・症状・疾病 動画数：46本 合計動画時間：2時間49分50秒	高齢者に多くみられる疾病 動画数30本、合計動画時間数91:33	頭部外傷（原因・対応）	高齢者に多くみられる疾病、「頭部外傷」の原因・対応を考え、学ぶ。	1:31	○	○
249		頭部外傷（注意点）			高齢者に多くみられる疾病、「頭部外傷」の注意点について学ぶ。	3:28	○	○	
250		骨折（原因）			高齢者に多くみられる疾病、「骨折」の原因を考える。	1:47	○	○	
251		骨折（種類）			高齢者に多くみられる疾病、「骨折」の種類を学ぶ。	2:12	○	○	
252		骨折（対応）			高齢者に多くみられる疾病、「骨折」の対応を学ぶ。	4:49	○	○	
253		低血糖症状（原因）			高齢者に多くみられる疾病、「低血糖症状」の原因を考える。	3:55	○	○	
254		低血糖症状で起こること			高齢者に多くみられる、「低血糖症状」で起こる疾病を学ぶ。	2:17	○	○	
255		低血糖症状（対応）			高齢者に多くみられる疾病、「低血糖症状」の対応を学ぶ。	3:26	○	○	
256		血圧変動（原因）			高齢者に多くみられる疾病、「血圧変動」の原因を考える。	2:45	○	○	
257		血圧変動（対応）			高齢者に多くみられる疾病、「血圧変動」の対応を学ぶ。	4:44	○	○	
258		腹痛（原因）			高齢者に多くみられる疾病、「腹痛」の原因を考える。	2:43	○	○	
259		腹痛（対応）			高齢者に多くみられる疾病、「腹痛」の対応を学ぶ。	3:20	○	○	
260		心臓発作・心不全（原因）			高齢者に多くみられる疾病、「心臓発作・心不全」の原因を考える。	4:33	○	○	
261	心臓発作・心不全（対応）	高齢者に多くみられる疾病、「心臓発作・心不全」の対応を学ぶ。			2:37	○	○		
262	けいれん（原因）	高齢者に多くみられる疾病、「けいれん」の原因を考える。			3:20	○	○		
263	けいれん（対応）	高齢者に多くみられる疾病、「けいれん」の対応を学ぶ。			2:45	○	○		
264	中毒（原因）	高齢者に多くみられる疾病、「中毒」の原因を考える。			3:01	○	○		
265	中毒（対応その1）	高齢者に多くみられる疾病、「中毒」の夜間対応を学ぶ。			1:48	○	○		
266	中毒（対応その2）	高齢者に多くみられる疾病、「中毒」の吐かせてはいけない場合の対応を学ぶ。			1:26	○	○		
267	中毒（対応その3）	高齢者に多くみられる疾病、「中毒」の対応を学ぶ。			1:46	○	○		
268	中毒（対応その4）	高齢者に多くみられる疾病、「中毒」の様子を見て良い場合の対応を学ぶ。	3:16	○	○				
269	倫理及び法令遵守 動画数：18本 合計動画時間：1時間35分36秒	倫理及び法令遵守 動画数18本、合計動画時間数95:36	法令遵守とコンプライアンス	法令遵守とコンプライアンスとの違いについて、コンプライアンスとは？4つの要求事項について学ぶ。	7:05	○	○	○	
270			顧客の要求事項	暗黙の要求事項であること、顧客とは利用者ならびにその家族に対する要求であることを理解する。	4:48	○	○	○	
271			社会的要求事項・法的要求事項	介護事業所はサービス提供を対価として介護報酬を得ていることを理解する、介護事業者は介護保険法を遵守することはもちろんのこと、労働基準法・生活保護法・個人情報保護法など他の法律も守って業務を遂行することを学ぶ。	7:20	○	○	○	
272			組織の要求事項	組織には規則や規程等の行動規範があり、組織に属する者はそれらを守らなければならないことを学ぶ。	4:21	○	○	○	
273			法令遵守責任者と担当者	責任者と担当者について事業所ごとに定めておく必要があることを認識する、それぞれの役割に対しても全職員守って理解しておくことが必要であることを学ぶ。	7:06	○	○	○	
274			利用者および関係諸機関に対する行動規範（1）	秘密義務は職中はもちろん退職後においても継続すること、説明義務（アカウンタビリティ）として利用者の要求に応え、代替のサービス提供も考慮することも念頭に入れておくことの必要性を学ぶ。	4:57	○	○	○	
275			利用者および関係諸機関に対する行動規範（2）	サービスを受け利用する者等にはリスクが伴うことも説明しておく必要がある（責任の範囲についても明確にしておくこと）、誠実な態度で説明や相談を受けることの必要性を理解することを学ぶ。	6:42	○	○	○	
276			利用者および関係諸機関に対する行動規範（3）	利用者等との癒着の禁止・リベート要求の禁止について学ぶ。	4:36	○	○	○	
277			介護・福祉事業者としての行動規範（1）	社会福祉法・介護保険法を遵守すること、利益追求の制限として事業所の存続として利益の追求は必要であるが、行き過ぎた利益の追求は好ましくないことを学ぶ。	5:43	○	○	○	
278			介護・福祉事業者としての行動規範（2）	人員配置基準の遵守や資格要件の確認によって法令に即しているのか定期的に確認を行うことの重要性を理解する。	7:54	○	○	○	
279			介護・福祉事業者としての行動規範（3）	消防法の遵守により利用者の安全確保に努めること、労働者の保護として雇用者は労働者の権利を奪うような行為・命令を行ってはならないことを学ぶ。	4:51	○	○	○	
280			介護・福祉従業者としての行動規範（1）	交通規則の遵守について道路交通法を守りマナーを身につけること、法人財産の善いとして全職員が施設等の財産を尊重すること、無断でつかいに気をつけることを学ぶ。	5:32	○	○	○	
281			介護・福祉従業者としての行動規範（2）	記録やマニュアル類の整備において、職員間の伝達について常に配慮が必要であることに加えて、年1回の見直しを学ぶ。	6:00	○	○	○	
282			より良い法人にするための行動規範（1）	内部ルールの確認として、適宜、ルール改訂等に気を配ること、ルール変更の伝達ミスによって利用者に重大な危険を及ぼす可能性があることを認識する。	3:26	○	○	○	

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職
283	倫理及び法令遵守 動画数：18本 合計動画時間：1時間35分36秒	倫理及び法令遵守 動画数18本、合計動画時間数95:36	より良い法人にするための行動規範（2）	セクハラやパワハラの禁止として、地位や立場を利用して性的な関係の強要・異性が嫌悪感を抱く発言などは禁止されていることを認識する。	4:52	○	○	○
284			より良い法人にするための行動規範（3）	理念の追求によって、利用者主体でのサービス提供を法人職員が一丸となって理解することの重要性を学ぶ。	2:32	○	○	○
285			より良い法人にするための行動規範（4）	職場の雰囲気づくりとして、職場風土が良い事業所は法令遵守のできる環境を生む、職場の雰囲気はチーム全員で創り上げていくものであることを認識する。	3:51	○	○	○
286			法令や法令遵守に違反した場合	違反時の罰則には、就業規則などに基づいて行われるものであること 就業時には、誓約書の提出を以て初めて雇用契約の締結に至ることを理解する。	4:00	○	○	○
287	嗜痰吸引等研修について 動画数：18本 合計動画時間：1時間3分23秒 ※本動画受講では資格取得は出来ません。	嗜痰吸引等研修の概要	嗜痰吸引等研修の概要・介護職員の出来る業務範囲	嗜痰吸引等の概要、たんの吸引等の範囲について学ぶ。	4:52	○	○	
288			嗜痰吸引等研修～認定証発行までの流れ	研修に参加するにあたり、認定証発行までの流れを学び理解する。	2:34	○	○	
289		サービス提供時の観察のポイント 動画数2本、合計動画時間数12:20	介護職員による嗜痰吸引等研修の提供フロー	介護職員による嗜痰吸引等研修の提供フローの仕組みを具体的なイメージを確認しながら学ぶ。	4:01	○	○	
290			吸引の際の観察ポイント	口腔内吸引の際の観察ポイント・パルスオキシメーターの使用について学ぶ。	6:47	○	○	
291		事故防止策について 動画数4本、合計動画時間数12:31	胃ろう注入の際の観察ポイント	胃ろう注入の際の観察ポイント・注意ポイントについて学ぶ。	5:33	○	○	
292			利用者の把握	事故防止策について利用者の把握をしながら考える。	4:19	○	○	
293			医療との連携体制の構築（1）	事故防止策について、いつ・どのように行うか医療との連携体制を具体的に構築しておくことを学ぶ。	2:55	○	○	
294			医療との連携体制の構築（2）急変など緊急時の連携	事故防止策について、急変など緊急時の連携を明確にして、共通認識を持つことを学ぶ。	2:07	○	○	
295			ヘルパーの適切な初期対応	事故防止策について、ヘルパーの適切な対応・連絡・報告について考える。	3:10	○	○	
296			家族との事前確認と信頼関係の重要性 動画数1本、合計動画時間数3:32	家族との事前確認と信頼関係の重要性	事故発生の影響を最小限にするためのポイントについて学ぶ。	3:23	○	○
297		業務に活用する書面について 動画数4本、合計動画時間数10:20	医師の指示書	指示書の項目と確認ポイント、有効期限について学ぶ。	2:58	○	○	
298			計画書	計画書の確認ポイントと注意ポイントについて学ぶ。	3:30	○	○	
299			報告書	介護職員が記載する報告書の項目と確認ポイントについて学ぶ。	2:15	○	○	
300			介護職員の残す記録の例	記録は完結明瞭にまた項目ごとに記録を残す重要性を学ぶ。	1:37	○	○	
301		実際の手順について 動画数4本、合計動画時間数13:22	吸引の準備物について	口腔内・鼻腔内吸引に必要な準備物の説明と注意点について学ぶ。	3:52	○	○	
302			吸引の手順	口腔内・鼻腔内吸引の際の手順と各動作の注意点について学ぶ。	4:38	○	○	
303	胃ろうの準備物について		胃ろうの経管栄養に必要な準備物の説明と注意点について学ぶ。	2:12	○	○		
304	胃ろうの手順		胃ろうの経管栄養の際の手順と各動作の注意点について学ぶ。	2:40	○	○		
305	感情労働と思考の偏りについて知る 動画数1本、合計動画時間数6:41	感情労働とは何か・“思考の偏り”に気づく	感情労働について学ぶ、思考の偏りに伴うABC理論について学ぶ。	6:41	○	○	○	
306		認知をつかまえる①	出来事への認知、考え方、解釈について学ぶ。	3:56	○	○	○	
307		認知をつかまえる②	ワークの解説。	3:13	○	○	○	
308		認知（思考・解釈）の歪みを知る	認知・思考のゆがみ10パターンを学ぶ。	7:11	○	○	○	
309		認知（思考・解釈）の歪みを知る	ワークの解説。	7:54	○	○	○	
310		認知（思考・解釈）を変えるテクニック	認知（思考・解釈）を変えるテクニックにより、歪んだ認知にとらわれていることを改善する。	1:46	○	○	○	
311		負の感情への対処法	負の感情（怒りや不安、落胆など）へタイムリーに改善する方法を学ぶ。	11:33	○	○	○	
312		ストレスから離れるための自分時間作り	介護職＝感情労働であるストレスからの改善、オン・オフの切り替えを学ぶ。	6:25	○	○	○	
313		あなたのサポーターを探しましょう①	何故サポーターを探すのか、サポーターの効果を学ぶ。	7:10	○	○	○	
314		あなたのサポーターを探しましょう②	ワークまとめ。	0:28	○	○	○	
315		癒す一心と体を休める	セロトニン活性化トレーニング、リズム運動	セロトニンについて、セロトニンを増やす方法を学ぶ。	8:33	○	○	○
316		ストレスと緊張の関係・呼吸法	ストレスがかかる際の状態、緊張の緩め方を学ぶ。	6:41	○	○	○	
317		ストレスと緊張の関係・呼吸法（実技）	呼吸法の実技を学ぶ。	2:46	○	○	○	
318		回復する一明日へのエネルギーをためる 動画数2本、合計動画時間数16:22	睡眠の質を高める	交代勤務睡眠障害を予防するために睡眠の質の高め方を学ぶ。	9:26	○	○	○
319	一日の振り返り日記を書く	今日会ったいいことを振り返り、思考をポジティブにすることを学ぶ。	6:56	○	○	○		
320	人の気持ち、考えに耳を傾ける 動画数1本、合計動画時間数9:03	傾聴スキルを上げる	傾聴の効果、傾聴のコツを学ぶ。	9:03	○	○	○	
321	自分の気持ち、考えを伝えるアサーティブについて知る 動画数3本、合計動画時間数11:00	アサーションスキルを上げる	アサーションとはなにか、アサーティブという状態を知る。	5:08	○	○	○	
322	アサーションスキルの実践（ワーク）	上司役、部下役に分かれてのロールプレイングを行う。	3:26	○	○	○		
323	アサーションスキルの実践（ワーク解説）	ワークの解説。	2:26	○	○	○		
324	人間関係を円滑にするためのポイント	人間関係を円滑にするためのポイント①	人間関係がうまくいかない人の特徴、人の良い部分を見つけることを学ぶ。	9:55	○	○	○	
325	人間関係を円滑にするためのポイント②	クッション言葉について、上手な使い方を学ぶ。	6:41	○	○	○		
326	労働安全衛生法改正のポイント 動画数1本、合計動画時間数1:56	改正の内容と制度の目的	平成27年12月の労働安全衛生法の改正について学ぶ。	1:56			○	
327	実施前準備	実施前準備 事業主からの方針表明	方針表明の実施内容について学ぶ。	3:33			○	
328	実施前準備	実施前準備 調査審議の指針①	調査審議の実施方法、体制等を学ぶ。	5:26			○	
329	実施前準備	実施前準備 調査審議の指針②	調査審議の実施方法、体制等を学ぶ。（続き）	2:53			○	

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
330	メンタルヘルスクエア研修 動画数：32本 合計動画時間：2時間52分36秒	ストレスチェックの実施 動画数7本、合計動画時間数31:30	ストレスチェック実施体制	ストレスチェック実施に向けた必要な体制、役割を学ぶ。	4:00			○	
331			ストレスチェックの内容と対象者となる人	ストレスチェックの対象者、非対象者を学ぶ、ストレスチェックの内容を学ぶ。	6:36			○	
332			ストレスチェックの実施者・高ストレス者の選定方法	ストレスチェック実施者の資格や、高ストレス者の選定する際の注意点を学ぶ。	2:57			○	
333			実施に際してのその他の留意事項	ストレスチェックを行う際の注意事項、禁止事項について学ぶ。	4:33			○	
334			結果の通知、保存・面接指導の注意事項	ストレスチェックの通知内容の詳細、結果の保存方法・期間、また面接指導に関わる注意事項について学ぶ。	5:50			○	
335			個人情報の保護・集団分析の注意事項	ストレスチェックを行った際の個人情報の保護について、面接結果の提供方法、集団ごとの分析についての留意点を学ぶ。	3:14			○	
336			派遣労働者への対応・労働基準監督署への報告	派遣労働者へのストレスチェックの実施、分析の範囲と労働基準監督署への報告時期などについて学ぶ。	4:20			○	
337	財務会計・事業経営・創業時支援研修 動画数：16本 合計動画時間：2時間22分42秒	会計はなぜ必要ですか？ 動画数1本、合計動画時間数8:59	会計はなぜ必要ですか？	経営の方向性を決定するためにも必要な決算書の活用方法について学ぶ。	8:59		○	○	
338		決算書の簡単な見方を教えて下さい 動画数4本、合計動画時間数40:10	貸借対照表	財務状況、資金調達、資金運営などを表した貸借対照表の見方について学ぶ。	11:31		○	○	
339			損益計算書	収益、費用など会計部門での言葉の説明と、5段階の利益についての説明を基に損益計算書の見方を学ぶ。	11:55		○	○	
340			貸借対照表と損益計算書の関係	貸借対照表と損益計算書を図によって比較しながらの密接なお金の流れ、繋がりを学ぶ。	6:01		○	○	
341		財務活動によるキャッシュフロー	営業活動、投資活動、財務活動の説明とキャッシュフロー計算書において法人の資金増減を学ぶ。	10:43		○	○		
342		介護会計って何ですか？ 動画数1本、合計動画時間数6:54	介護会計って何ですか？	介護事業における会計の区分の必要性と、その区分の方法を学ぶ。本支店会計または部門別会計の違いについて学ぶ。	6:54		○	○	
343		どのような介護事業所をつくりたいですか？ 動画数1本、合計動画時間数8:31	どのような介護事業所をつくりたいですか？	介護事業の経営についてマネジメント力の重要性和、事業所としてのビジョン、風土、利用者に見えるサービス提供のバランスについて学ぶ。	8:31		○	○	
344		マーケティング 動画数1本、合計動画時間数9:21	マーケティング	潜在顧客、地域ニーズなどの情報収集の方法など、マーケティングの考え方やその手法について学ぶ。	9:21		○	○	
345			人件費に関する分析	(1) 人件費率	人件費と売上高のバランスの必要性と、厚生労働省が示している各事業所における人件費率をもとに分析方法を学ぶ。	7:45		○	○
346			(2) 職員を1人採用するか否かの基準	職員を採用する際に会社にかかる費用を理解し、経営状況における採用タイミングを学ぶ。	7:45		○	○	
347			事業計画 動画数1本、合計動画時間数10:58	事業計画	介護保険改正のような環境変化に対応するため、新規で事業を起こす場合など、事業計画の必要性を学ぶ。	10:58		○	○
348		資金繰り表 動画数1本、合計動画時間数5:22	資金繰り表	2か月のタイムラグがある介護報酬を利用するために重要な資金繰り管理を学ぶ。	5:22		○	○	
349		あなたはなぜ介護事業を開業したのですか？ 動画数1本、合計動画時間数4:27	あなたはなぜ介護事業を開業したのですか？	介護事業を開業する際に重要となる経営者に向けた問いをもとに、原点に立つことの重要性を学ぶ。	4:27		○	○	
350		創業時にやらなくてはいけないことは何ですか？ 動画数1本、合計動画時間数18:48	創業時にやらなければならないこと	設立届の提出、保険・年金関係、税務関係、申請手続きなど、7つある創業時に必要な手続きについてと専門家との連携の重要性を学ぶ。	18:48		○	○	
351		創業融資 動画数1本、合計動画時間数7:36	創業融資	創業直後の設備資金が必要になる際の創業融資申込みについてのポイントを学ぶ。	7:36		○	○	
352		開業後の資金管理 動画数1本、合計動画時間数6:06	開業後の資金管理	開業後に運営していくための資金と黒字転換していくための方法、経営において重要となる資金繰り管理について学ぶ。	6:06		○	○	
353	ケアマネジャー受験対策 動画数：129本 合計動画時間：13時間15分24秒	介護支援分野 動画数29本、合計動画時間数194:41	高齢社会の現状	65歳以上の高齢者の割合、高齢化社会と高齢社会の定義について、日本の今後の高齢化の推移について学ぶ。	5:53	○	○		
354			平均寿命	第二次世界大戦時は人生90年、高度成長期を経て生活水準の向上によって80歳となっていることを学ぶ。	4:31	○	○		
355			高齢化とともに進む要介護者の増大	平均余命の伸長と高齢者数の増加が要因であることを理解する。	5:23	○	○		
356			家族介護の実状	家族中心でありゴールの見えない介護・主たる介護者の約5割は60歳以上であり、女性の85%以上が介護者であることを理解する。	5:27	○	○		
357			介護保険制度の創設	国民年金保険・健康保険・雇用保険・労災補償保険に次ぐ第5の社会保険制度として、2000年に介護保険制度が創設され背景を学ぶ。	5:17	○	○		
358			介護保険制度の目的	社会全体で支えること・措置制度から契約制度へ・保健、医療、福祉の統一・競争原理の導入・ケアマネジメント導入など介護の標準化を目的としている。	6:52	○	○		
359			介護保険制度の理念	個人の尊厳の保持・自立した日常生活の保障・国民の共同連帯の3つの理念について抑えておく。	5:24	○	○		
360			介護保険制度の移り変わり（変遷）	3年ごとの報酬改定と医療との同時改定によって見直されてきた背景を学ぶ。	10:09	○	○		
361			介護保険制度の仕組み（1）	保険者（市町村）と保険者の業務について学ぶ。	7:40	○	○		
362			介護保険制度の仕組み（2）	保険加入者である被保険者について、第一号と第二号の違いについて学ぶ。	6:21	○	○		
363			要介護・要支援認定	要介護状態は要介護1～5、要支援状態は要支援1～2の認定があることを学ぶ。	3:31	○	○		
364			特定疾病	第二号被保険者に限っては、16の特定疾病によって日常生活に支障が生じた場合に介護保険サービスの利用に至ることを理解する。	9:08	○	○		
365			介護保険の費用負担構造	介護保険制度の創設時から保険料の割合が変わっていることに着目する。	5:52	○	○		
366			要介護（要支援）認定の申請	申請手続きから心身状態の調査等によって、介護にかかる労力を審査会で決定するプロセスを学ぶ。	9:55	○	○		
367			認定調査票の基本調査項目	74項目から成り立っており認定アセスメント項目は5つの群に分かれていることを理解する。	9:03	○	○		
368			介護保険審査会	都道府県に設置されていることを理解する、介護保険審査会の構成について学ぶ。	5:39	○	○		
369			国保連の業務	国民健康保険団体連合会（国保連）の業務について、7項目についての概要を理解する。	6:09	○	○		
370			低所得者対策	所得水準の低い方に対する負担軽減のため4つの段階を設定していることを理解する。	6:34	○	○		
371			特定入所介護サービス費	介護保険施設等における居住費（滞在費）と食費は原則、自己負担であるが低所得者に対する配慮がなされていること、所要要件の概要を把握する。	7:40	○	○		
372	高額介護サービス費	一世帯当たりの在宅サービス・施設サービスにかかる利用者負担が、所得区分に応じた上限額を超えた金額を支払っていることを学ぶ。	8:07	○	○				
373	高額医療・高額介護合算制度	年間の医療費が高額になった世帯に、介護保険の受給者がいる場合は合算して限度額を超えた金額は申請のちと返金される制度を学ぶ。	3:00	○	○				

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職		
374	介護支援分野 動画数29本、合計動画時間数194:41	介護支援分野	介護給付の種類	在宅サービス・施設サービス・地域密着型サービスと大きく3つのサービスがあることを学ぶ。	10:27	○	○			
375			居宅介護支援（介護支援専門員）	居宅の要介護者が在宅サービスや地域密着型サービス利用者に対するサービスプランを計画する業務、介護支援専門員の業務について、すばきことを学ぶ。	5:30	○	○			
376			地域支援事業の創設	介護保険法において5年ごとの制度の見直しが明記され、2006年(118)に初めて介護保険制度の大きな改正とともに予防支援が重要であるということから創設された経緯を学ぶ。	8:50	○	○			
377			地域支援事業の概要（1）	高齢者の要介護状態になることを予防するための取り組み可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう地域において『包括的・継続的ケア』を行うこと。	3:12	○	○			
378			地域支援事業の概要（2）	地域支援事業の一部を地域包括支援センターに委託できること、これまでの介護予防事業を地域支援事業として再編された経緯を学ぶ。2015年4月の改正で大幅に見直された。	5:15	○	○			
379			介護予防・日常生活支援総合事業	要支援者においては訪問サービスと通所サービスは、介護予防・日常生活支援総合事業に移行された「介護予防・日常生活支援総合事業」について理解する。	9:13	○	○			
380			地域包括支援センター	社会福祉士・保健師等・主任介護支援専門員の3職種がチームとして配置され、総合相談支援事業・権利擁護業務・包括的・継続的ケアマネジメント事業を行う、市町村が行うこととされているが、社会福祉法人や医療法人などに業務を委託することが可能であることを理解する。	6:24	○	○			
381			包括的支援事業	在宅医療、介護連携推進事業・生活支援体制整備事業・認知症総合支援事業の3事業について社会保険の充実を図る事を目的としていることを学ぶ。	8:15	○	○			
382			ケアマネジャー受験対策 動画数：129本 合計動画時間：13時間15分24秒	保険医療サービス分野 動画数30本、合計動画時間数185:05	老いに生じる現象（グループディスカッション）	保険医療サービス分野 老いに生じる3つの現象について考える。（グループワーク）	3:23	○	○	
383					老いに生じる現象	ヒトは加齢とともに各組織や臓器に変化が生じ機能の低下が見られる。心理的側面では身体的低下や知的能力の低下を自覚するなど老いを自覚することで様々な現象があることを学ぶ。	3:40	○	○	
384					生理的老化現象（1）	神経系・循環器・呼吸器について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	8:07	○	○	
385					生理的老化現象（2）	消化器・腎臓・血液・運動器について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	9:54	○	○	
386					心理的老化現象（1）	老化の自覚について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	5:53	○	○	
387					心理的老化現象（2）	知的能力の低下について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ、記憶のメカニズムについて学ぶ。	6:25	○	○	
388					社会的老化現象	社会での変化について、それぞれの変化に対する現象について学ぶ。	5:29	○	○	
389					日常生活動作（ADL）について	日常業務でも使用しているADLについて、あらためて理解・認識する機会とすることを学ぶ。	3:39	○	○	
390					食事（一般的な特徴）	食事に関する一般的な特徴について学ぶ。	7:17	○	○	
391					健康生活のための食事	食事に関する健康生活のための援助について6つの項目とその具体的な内容について学ぶ。	6:43	○	○	
392					排泄（一般的な特徴）	排泄に関する一般的な特徴について学ぶ。	9:17	○	○	
393	健康生活のための排泄	排泄に関する健康生活のための援助について9つの項目とその具体的な内容について学ぶ。			6:52	○	○			
394	睡眠（一般的な特徴）	睡眠に関する一般的な特徴について学ぶ。			4:07	○	○			
395	健康生活のための睡眠	睡眠に関する健康生活のための援助について7つの項目とその具体的な内容について学ぶ。			6:27	○	○			
396	運動（一般的な特徴）	運動に関する一般的な特徴について学ぶ。			5:30	○	○			
397	健康生活のための運動	運動（活動）に関する健康生活のための援助について5つの項目とその具体的な内容について学ぶ。			5:47	○	○			
398	清潔（一般的な特徴）	清潔に関する一般的な特徴について学ぶ。			4:44	○	○			
399	健康生活のための清潔	清潔に関する健康生活のための援助について5つの項目とその具体的な内容について学ぶ。			5:01	○	○			
400	病気の兆候	12箇の頭文字から病気の兆候を学ぶ、12項目について早期発見が早期治療につながることを学ぶ。			9:01	○	○			
401	症状の特徴	病気に対する症状について4つのポイントから学ぶ。			4:04	○	○			
402	認知症の定義	認知症の広義の意味と介護保険法での定義について異なっている点を学ぶ、認知症の意味・意義について学ぶ。			5:18	○	○			
403	一次要因	アルツハイマー型・脳血管性・レビー小体型認知症について、それぞれの特性や症状について学ぶ。			6:09	○	○			
404	一次要因の割合	一次要因の割合について円グラフから学び、どの認知症の割合が多いのかを把握する、認知症の症状を起こす共通点について学ぶ。			6:47	○	○			
405	二次要因	身体状態・精神状態・生活環境状態・廃用性要因に対する内容を理解する、認知症が疑われる際の対応について学ぶ。			7:18	○	○			
406	認知症の主な症状	知的能力の低下・心の症状と行動障害・ADLの低下・身体の障害に対する主な症状について学ぶ。			11:17	○	○			
407	認知症の理解（中核症状とBPSD）	脳細胞の死滅によって中核症状が見られるようになり、生活環境を取り巻く内容によって現れる行動・心理症状（BPSD）について、それぞれの違いを学ぶ。			5:43	○	○			
408	認知症の人と接するときの心構え	共通の対応として認知症利用者の言動について否定をしないことを前提に、認知症の方の心理的症状などを学ぶ。			7:13	○	○			
409	認知症の方への接するポイント	6つのポイントを列挙しており、認知症の方との接し方を一般的な対応として学ぶ。			7:18	○	○			
410	認知症ケアの実際（1）	食事・更衣・入浴・排泄・環境の項目に対して具体的な対応策を学ぶ。			6:42	○	○			
411	認知症ケアの実際（2）	物忘れ・思い込み・夜間せん妄・徘徊の項目に対して具体的な対応策を学ぶ。			7:43	○	○			
412	福祉サービス分野 動画数6本、合計動画時間数45:41	介護支援専門員として知っておくべきこと			ケアマネジャーの即戦力として働くための知識を学ぶ	4:35	○	○		
413		コミュニケーション技術			利用者やその家族とのコミュニケーションとしての、傾聴・共感・受容の必要性を学ぶ。	4:48	○	○		
414		介護過程			アセスメント、計画立案、実施、評価の意味を理解し、介護過程のプロセスを学ぶ。	5:19	○	○		
415		生活保護の目的および概要	生活保護の制度内容を理解し、その申請方法や保護基準について学ぶ。	7:06	○	○				
416		ICF（国際生活機能分類）	ICF（国際生活機能分類）の言葉の経緯を理解し、生活機能の枠組みや環境因子・個人因子について学ぶ	5:26	○	○				
417	介護給付サービスの種類	介護予防は除いた、居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービスの名称や経緯などを学ぶ。	10:44	○	○					
418	受験にあたってポイント 動画数4本、合計動画時間数23:31	介護支援専門員実務者研修受講試験について①	試験の構成は3分野であること、介護支援分野・保健医療サービス分野・福祉サービス分野においてそれぞれ、7割以上の得点が必要であることを理解する。	5:25	○	○				
419		介護支援専門員実務者研修受講試験について②	合格の方程式は、目標【合格】＝可能性【できていること】＝課題【すばきこと】。	3:40	○	○				
420		介護保険制度改正時はチャンス	学習のポイントとして、法の改正時（CHANGE）は＝文字変えと、チャンス（CHANCE）に変わるとい認識で、変わった点に着目した勉強方法が重要であることを認識する。	4:56	○	○				

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職
421	ケアマネジャー受験対策 動画数：129本 合計動画時間：13時間15分24秒	受験にあたってポイント 動画数4本、合計動画時間数23:31	試験対策のポイント	試験合格のテクニックとして、消去法で正解を導き出すこと、5つの選択肢から正しいもの・より適切なもの・適切なものの3パターンを逆の発想で、間違えているもの・あまり適さないもの・適さないものは正解から除外すること。NGワードについて念頭に入れておくことも合格への第一歩であることを学ぶ。	9:30	○	○	
422		平成27年度過去問解説 介護支援分野 動画数25本、合計動画時間数126:46	H27試験対策 問1解説	過去問解説	5:05	○	○	
423			H27試験対策 問2解説	過去問解説	5:31	○	○	
424			H27試験対策 問3解説	過去問解説	6:06	○	○	
425			H27試験対策 問4解説	過去問解説	4:52	○	○	
426			H27試験対策 問5解説	過去問解説	4:40	○	○	
427			H27試験対策 問6解説	過去問解説	7:41	○	○	
428			H27試験対策 問7解説	過去問解説	4:25	○	○	
429			H27試験対策 問8解説	過去問解説	4:21	○	○	
430			H27試験対策 問9解説	過去問解説	5:30	○	○	
431			H27試験対策 問10解説	過去問解説	5:13	○	○	
432			H27試験対策 問11解説	過去問解説	5:24	○	○	
433			H27試験対策 問12解説	過去問解説	5:13	○	○	
434			H27試験対策 問13解説	過去問解説	4:44	○	○	
435			H27試験対策 問14解説	過去問解説	3:52	○	○	
436			H27試験対策 問15解説	過去問解説	3:28	○	○	
437			H27試験対策 問16解説	過去問解説	4:45	○	○	
438			H27試験対策 問17解説	過去問解説	4:21	○	○	
439			H27試験対策 問18解説	過去問解説	6:09	○	○	
440			H27試験対策 問19解説	過去問解説	5:07	○	○	
441			H27試験対策 問20解説	過去問解説	5:34	○	○	
442			H27試験対策 問21解説	過去問解説	4:09	○	○	
443			H27試験対策 問22解説	過去問解説	7:03	○	○	
444			H27試験対策 問23解説	過去問解説	4:20	○	○	
445			H27試験対策 問24解説	過去問解説	5:02	○	○	
446			H27試験対策 問25解説	過去問解説	4:11	○	○	
447		平成27年度過去問解説 保険医療サービス分野 動画数20本、合計動画時間数127:28	H27試験対策 問26解説	過去問解説	4:41	○	○	
448			H27試験対策 問27解説	過去問解説	6:32	○	○	
449			H27試験対策 問28解説	過去問解説	4:46	○	○	
450			H27試験対策 問29解説	過去問解説	5:20	○	○	
451			H27試験対策 問30解説	過去問解説	5:01	○	○	
452			H27試験対策 問31解説	過去問解説	4:22	○	○	
453			H27試験対策 問32解説	過去問解説	5:45	○	○	
454			H27試験対策 問33解説	過去問解説	5:43	○	○	
455			H27試験対策 問34解説	過去問解説	6:32	○	○	
456			H27試験対策 問35解説	過去問解説	7:54	○	○	
457			H27試験対策 問36解説	過去問解説	7:48	○	○	
458			H27試験対策 問37解説	過去問解説	8:32	○	○	
459			H27試験対策 問38解説	過去問解説	5:33	○	○	
460			H27試験対策 問39解説	過去問解説	7:00	○	○	
461			H27試験対策 問40解説	過去問解説	7:00	○	○	
462			H27試験対策 問41解説	過去問解説	8:02	○	○	
463			H27試験対策 問42解説	過去問解説	5:53	○	○	
464			H27試験対策 問43解説	過去問解説	6:50	○	○	
465			H27試験対策 問44解説	過去問解説	6:49	○	○	
466			H27試験対策 問45解説	過去問解説	7:25	○	○	
467			H27試験対策 問46解説	過去問解説	5:07	○	○	
468	H27試験対策 問47解説		過去問解説	4:36	○	○		
469	H27試験対策 問48解説		過去問解説	4:43	○	○		
470	H27試験対策 問49解説		過去問解説	4:39	○	○		
471	H27試験対策 問50解説		過去問解説	7:38	○	○		
472	H27試験対策 問51解説	過去問解説	7:29	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職
473	ケアマネジャー受験対策 動画数：129本 合計動画時間：13時間15分24秒	平成27年度過去問解説 福祉サービス分野 動画数15本、合計動画時間数92:12	H27試験対策 問52解説	過去問解説	7:06	○	○	
474			H27試験対策 問53解説	過去問解説	6:03	○	○	
475			H27試験対策 問54解説	過去問解説	4:48	○	○	
476			H27試験対策 問55解説	過去問解説	5:56	○	○	
477			H27試験対策 問56解説	過去問解説	5:58	○	○	
478			H27試験対策 問57解説	過去問解説	6:55	○	○	
479			H27試験対策 問58解説	過去問解説	7:19	○	○	
480			H27試験対策 問59解説	過去問解説	6:53	○	○	
481			H27試験対策 問60解説	過去問解説	7:02	○	○	
482	試験対策と解説 動画数4本、合計動画時間数26:46	試験の大まかな流れ 出題内容 試験内容の改正時はチャンス 試験対策のポイント			6:52	○	○	
483					6:52	○	○	
484					5:34	○	○	
485					7:28	○	○	
486	試験対策と解説/人間の尊厳と自立 動画数4本、合計動画時間数24:28	人権とは 介護とは 権利擁護の制度 尊厳の保持支援の実践			6:25	○	○	
487					5:27	○	○	
488					8:09	○	○	
489	人間と社会/人間の尊厳と自立 動画数2本、合計動画時間数9:24	H27試験対策問1解説 H27試験対策問2解説		過去問解説	4:07	○	○	
490				過去問解説	5:17	○	○	
491	人間と社会/人間関係とコミュニケーション 動画数2本、合計動画時間数10:19	H27試験対策問3解説 H27試験対策問4解説		過去問解説	4:28	○	○	
492				過去問解説	5:51	○	○	
493	人間と社会/社会の理解 動画数12本、合計動画時間数54:14	H27試験対策問5解説 H27試験対策問6解説 H27試験対策問7解説 H27試験対策問8解説 H27試験対策問9解説 H27試験対策問10解説 H27試験対策問11解説 H27試験対策問12解説 H27試験対策問13解説 H27試験対策問14解説 H27試験対策問15解説 H27試験対策問16解説		過去問解説	5:18	○	○	
494				過去問解説	5:18	○	○	
495				過去問解説	4:52	○	○	
496				過去問解説	3:41	○	○	
497				過去問解説	1:54	○	○	
498				過去問解説	4:16	○	○	
499				過去問解説	5:13	○	○	
500				過去問解説	5:19	○	○	
501				過去問解説	4:05	○	○	
502				過去問解説	4:02	○	○	
503				過去問解説	4:52	○	○	
504				過去問解説	5:24	○	○	
505				過去問解説	6:34	○	○	
506				過去問解説	5:04	○	○	
507				過去問解説	4:43	○	○	
508			介護/介護の基本 動画数16本、合計動画時間数67:23	H27試験対策問17解説 H27試験対策問18解説 H27試験対策問19解説 H27試験対策問20解説 H27試験対策問21解説 H27試験対策問22解説 H27試験対策問23解説 H27試験対策問24解説 H27試験対策問25解説 H27試験対策問26解説		過去問解説	4:30	○
509		過去問解説			2:27	○	○	
510		過去問解説			3:38	○	○	
511		過去問解説			4:14	○	○	
512		過去問解説			4:08	○	○	
513		過去問解説			3:25	○	○	
514		過去問解説			5:25	○	○	
515		過去問解説			3:35	○	○	
516		過去問解説			3:46	○	○	
517		過去問解説			4:03	○	○	
518	介護/コミュニケーション技術 動画数8本、合計動画時間数37:01	H27試験対策問27解説 H27試験対策問28解説 H27試験対策問29解説 H27試験対策問30解説 H27試験対策問31解説 H27試験対策問32解説		過去問解説	5:00	○	○	
519				過去問解説	4:26	○	○	
520				過去問解説	2:25	○	○	
521				過去問解説	3:56	○	○	
522				過去問解説	5:06	○	○	
523				過去問解説	4:30	○	○	
524		H27試験対策問33解説	過去問解説	4:52	○	○		
525		H27試験対策問34解説	過去問解説					

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
526	介護福祉士受験対策 動画数：177本 合計動画時間：14時間31分49秒	介護 / コミュニケーション技術 動画数8本、合計動画時間数37:01	H27試験対策問37解説	過去問解説	5:31	○	○		
527			H27試験対策問38解説	過去問解説	4:36	○	○		
528			H27試験対策問39解説	過去問解説	4:35	○	○		
529		H27試験対策問40解説	過去問解説	3:55	○	○			
530		介護 / 生活支援技術 動画数20本、合計動画時間数86:20	H27試験対策問41解説	過去問解説	3:35	○	○		
531			H27試験対策問42解説	過去問解説	4:14	○	○		
532			H27試験対策問43解説	過去問解説	3:22	○	○		
533			H27試験対策問44解説	過去問解説	4:43	○	○		
534			H27試験対策問45解説	過去問解説	5:04	○	○		
535			H27試験対策問46解説	過去問解説	5:25	○	○		
536			H27試験対策問47解説	過去問解説	5:16	○	○		
537			H27試験対策問48解説	過去問解説	1:34	○	○		
538			H27試験対策問49解説	過去問解説	3:41	○	○		
539			H27試験対策問50解説	過去問解説	3:52	○	○		
540			H27試験対策問51解説	過去問解説	5:14	○	○		
541			H27試験対策問52解説	過去問解説	5:01	○	○		
542			H27試験対策問53解説	過去問解説	2:30	○	○		
543			H27試験対策問54解説	過去問解説	4:00	○	○		
544			H27試験対策問55解説	過去問解説	3:58	○	○		
545			H27試験対策問56解説	過去問解説	4:59	○	○		
546			H27試験対策問57解説	過去問解説	3:26	○	○		
547			H27試験対策問58解説	過去問解説	4:46	○	○		
548			H27試験対策問59解説	過去問解説	5:34	○	○		
549			H27試験対策問60解説	過去問解説	6:06	○	○		
550			介護 / 介護過程 動画数9本、合計動画時間数42:59	H27試験対策問61解説	過去問解説	4:02	○	○	
551				H27試験対策問62解説	過去問解説	4:04	○	○	
552				H27試験対策問63解説	過去問解説	5:23	○	○	
553				H27試験対策問64解説	過去問解説	4:03	○	○	
554		H27試験対策問65解説		過去問解説	6:14	○	○		
555		H27試験対策問66解説		過去問解説	3:33	○	○		
556		H27試験対策問67・68事例		過去問解説に関しての事例説明	5:10	○	○		
557		H27試験対策問67解説		過去問解説	4:45	○	○		
558		H27試験対策問68解説	過去問解説	5:45	○	○			
559		こころとからだのしくみ / 発達と老化の理解 動画数8本、合計動画時間数41:50	H27試験対策問69解説	過去問解説	6:38	○	○		
560			H27試験対策問70解説	過去問解説	5:38	○	○		
561			H27試験対策問71解説	過去問解説	7:44	○	○		
562			H27試験対策問72解説	過去問解説	3:30	○	○		
563			H27試験対策問73解説	過去問解説	4:37	○	○		
564			H27試験対策問74解説	過去問解説	5:24	○	○		
565			H27試験対策問75解説	過去問解説	3:42	○	○		
566			H27試験対策問76解説	過去問解説	4:37	○	○		
567		こころとからだのしくみ / 認知症の理解 動画数10本、合計動画時間数53:28	H27試験対策問77解説	過去問解説	4:51	○	○		
568			H27試験対策問78解説	過去問解説	3:47	○	○		
569			H27試験対策問79解説	過去問解説	9:12	○	○		
570			H27試験対策問80解説	過去問解説	5:20	○	○		
571			H27試験対策問81解説	過去問解説	6:22	○	○		
572			H27試験対策問82解説	過去問解説	4:20	○	○		
573			H27試験対策問83解説	過去問解説	5:20	○	○		
574			H27試験対策問84解説	過去問解説	4:58	○	○		
575			H27試験対策問85解説	過去問解説	3:53	○	○		
576			H27試験対策問86解説	過去問解説	5:25	○	○		
577		こころとからだのしくみ / 障害の理解 動画数10本、合計動画時間数53:30	H27試験対策問87解説	過去問解説	4:39	○	○		
578		H27試験対策問88解説	過去問解説	7:55	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
579	介護福祉士受験対策 動画数：177本 合計動画時間：14時間31分49秒	こころとからだのしくみ / 障害の理解 動画数10本、合計動画時間数53:30	H27試験対策問89解説	過去問解説	5:55	○	○		
580			H27試験対策問90解説	過去問解説	4:44	○	○		
581			H27試験対策問91解説	過去問解説	5:57	○	○		
582			H27試験対策問92解説	過去問解説	5:48	○	○		
583			H27試験対策問93解説	過去問解説	2:31	○	○		
584			H27試験対策問94解説	過去問解説	4:48	○	○		
585			H27試験対策問95解説	過去問解説	5:01	○	○		
586			H27試験対策問96解説	過去問解説	6:12	○	○		
587			H27試験対策問97解説	過去問解説	4:36	○	○		
588			H27試験対策問98解説	過去問解説	5:06	○	○		
589			H27試験対策問99解説	過去問解説	4:02	○	○		
590			H27試験対策問100解説	過去問解説	2:56	○	○		
591			H27試験対策問101解説	過去問解説	5:08	○	○		
592			H27試験対策問102解説	過去問解説	2:17	○	○		
593			H27試験対策問103解説	過去問解説	2:04	○	○		
594			H27試験対策問104解説	過去問解説	4:30	○	○		
595		H27試験対策問105解説	過去問解説	3:40	○	○			
596		H27試験対策問106解説	過去問解説	3:49	○	○			
597		H27試験対策問107解説	過去問解説	3:48	○	○			
598		H27試験対策問108解説	過去問解説	3:39	○	○			
599		H27試験対策問109解説～111解説のための事例紹介	過去問解説に関する事例説明	2:34	○	○			
600		H27試験対策問109解説	過去問解説	4:21	○	○			
601		H27試験対策問110解説	過去問解説	4:31	○	○			
602		H27試験対策問111解説	過去問解説	3:38	○	○			
603		H27試験対策問112解説～114解説のための事例紹介	過去問解説に関する事例説明	2:25	○	○			
604		H27試験対策問112解説	過去問解説	2:45	○	○			
605		H27試験対策問113解説	過去問解説	4:39	○	○			
606		H27試験対策問114解説	過去問解説	4:34	○	○			
607		H27試験対策問115解説～117解説のための事例紹介	過去問解説に関する事例説明	2:19	○	○			
608		H27試験対策問115解説	過去問解説	4:49	○	○			
609		H27試験対策問116解説	過去問解説	3:50	○	○			
610		H27試験対策問117解説	過去問解説	3:40	○	○			
611		H27試験対策問118解説～120解説のための事例紹介	過去問解説に関する事例説明	2:52	○	○			
612		H27試験対策問118解説	過去問解説	3:12	○	○			
613		H27試験対策問119解説	過去問解説	3:38	○	○			
614		H27試験対策問120解説	過去問解説	4:28	○	○			
615		人間と社会/人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立の概要			5:21	○	○	
616		動画数2本、合計動画時間数12:45	権利擁護の制度			7:24	○	○	
617		人間と社会/人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーションの概要			2:48	○	○	
618		動画数3本、合計動画時間数13:06	人間関係の形成			4:21	○	○	
619			コミュニケーションの基本			5:57	○	○	
620		人間と社会/社会の理解	社会の理解の概要			3:56	○	○	
621		動画数9本、合計動画時間数61:05	社会と組織			5:02	○	○	
622			社会保障制度			7:38	○	○	
623			医療保険制度			5:11	○	○	
624			介護保険制度の概要			6:40	○	○	
625			介護給付のいろいろな対象サービス(1)居宅サービス			11:22	○	○	
626			介護給付のいろいろな対象サービス(2)施設サービス			5:50	○	○	
627			介護給付のいろいろな対象サービス(3)地域密着型サービス			8:58	○	○	
628			介護保険制度における地域支援事業			6:28	○	○	

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職			
629	介護福祉士受験対策 動画数：177本 合計動画時間：14時間31分49秒	介護/介護の基本 動画数8本、合計動画時間数45:02	介護の基本の概要		2:15	○	○				
630			介護福祉士とは		4:42	○	○				
631			介護福祉士とその義務		6:40	○	○				
632			ICFモデルと介護		5:06	○	○				
633			リハビリテーションにおけるチームアプローチと専門職		7:07	○	○				
634			地域包括ケアと在宅の介護		5:39	○	○				
635			介護福祉士の倫理		6:15	○	○				
636			利用者の心身の状況把握		7:18	○	○				
637		介護/コミュニケーション技術 動画数3本、合計動画時間数15:17	介護/コミュニケーション技術の概要 相談・助言・指導の技法 介護記録	コミュニケーション技術の概要		3:40	○	○			
638						5:53	○	○			
639						5:44	○	○			
640		介護/生活支援技 動画数1本、合計動画時間数4:19	介護/生活支援技の概要	生活支援技術の概要		4:19	○	○			
641				介護/介護課程 動画数2本、合計動画時間数7:38	介護過程の概要 ケアマネジメントと介護過程		2:14	○	○		
642							5:24	○	○		
643				こころとからだのしくみ/発達と老化の理解 動画数5本、合計動画時間数26:32	発達と老化の理解の概要 発達段階の理論(1) 発達段階の理論(2) 高齢者の身体的変化と影響 高齢者に多い疾患と病状の特徴		5:03	○	○		
644							4:55	○	○		
645							4:19	○	○		
646							8:00	○	○		
647				こころとからだのしくみ/認知症の理解 動画数1本、合計動画時間数2:55	認知症の理解の概要		4:15	○	○		
648							2:55	○	○		
649				こころとからだのしくみ/障害の理解 動画数2本、合計動画時間数11:23	障害の理解の概要 法律上の定義		3:48	○	○		
650			7:35			○	○				
651		こころとからだのしくみ 動画数3本、合計動画時間数27:13	こころとからだのしくみの概要 消化器と泌尿器の動きと主な内分泌 神経系の働き		4:52	○	○				
652					11:52	○	○				
653				医療的ケア 動画数5本、合計動画時間数33:02	医療的ケアの概要 医療的ケアとは 喀痰吸引の方法 経管栄養の方法 心急手当と緊急時対応		10:29	○	○		
654							3:43	○	○		
655							7:09	○	○		
656							5:38	○	○		
657					5:59	○	○				
658					10:33	○	○				
659	コミュニケーションスキル 動画数：8本 合計動画時間：36分19秒	コミュニケーションとは 動画数2本、合計動画時間数5:22	コミュニケーションの種類(グループディスカッション)	言語・非言語コミュニケーションを学ぶ。なぜコミュニケーションを行うのか考える。	2:43	○	○	○			
660			聞き手に与える影響	言語と非言語の重要度を示しているメラビアンの法則を知り、その有効活用方法を学ぶ。	2:39	○	○	○			
661		非言語コミュニケーションスキル 動画数2本、合計動画時間数6:36	視覚情報 体感覚情報 聴覚情報	表情を作るときに重要なポイントを学び、実践する。(ペアワーク)		3:01	○	○	○		
662					姿勢・ボディランゲージなど使い、鏡の法則を用いたときか相手に安心感を持つか、またその刷り込み方法を学ぶ。相手に対して内省させたいときや意見を出させたいときに有効的な声の乗せ方を学ぶ。	3:35	○	○	○		
663				言語コミュニケーション 動画数4本、合計動画時間数24:21	聴くスキル(1) 聴くスキル(2) 伝える・承認のスキル 引き出すスキル	ラポールについての説明と、相手にとって話しやすい環境作りとは何かを学ぶ。	3:23	○	○	○	
664							相違やオウム返しなどの傾聴スキルの言葉の説明と、その具体的な使い方について学ぶ。	7:22	○	○	○
665							1メッセージ、youメッセージの説明と使い方とを理解し、相手を勇気づける承認の10個のポイントと勇気づけについて学ぶ。	6:58	○	○	○
666							拡大質問、未来質問などの質問の種類と意味を理解し、その使い方について学ぶ。	6:38	○	○	○
667	介護予防 動画数：6本 合計動画時間：51分13秒	介護予防 動画数6本、合計動画時間数51:13	介護保険と介護予防～対象者と目的	介護保険に関する説明、介護予防の必要な視点、予防段階、対象者と目的、介護予防の必要性(健康寿命の知識、介護予防の考え方)	13:55	○	○				
668			健康寿命の知識～介護予防への考え方		7:06	○	○				
669			取り組みの選択視点～運動器の機能向上		5:27	○	○				
670			具体的な取り組みの前に～具体的な取り組み③転びやすくなったような気がする	取り組みの選択視点、運動器の機能向上、具体的な取り組みの前に、具体的な取り組み①姿勢が悪くなった、②尿漏れが気になる、③食べること、④食事中にむせることが多い、⑤物忘れが増えてきた、同じこもりへの支援、認知機能低下予防・支援、うつ予防・支援、まとめ(介護予防が目指すもの)	9:40	○	○				
671			食べること～具体的な取り組み⑥もの忘れが増えてきた		11:12	○	○				
672		うつ予防・支援～介護予防が目指すもの		3:50	○	○					
673	『終活』のいろは 動画数：30本 合計動画時間：1時間38分12秒	終活【基礎】 動画数9本、合計動画時間数17:25	終活の成り立ち	近年よく耳にする『終活』とは一体どんなモノ？	1:14	○	○	○			
674			終活の分野一覧	終活ってお墓とか葬儀の事、、、？たそれけではありません。	2:13	○	○	○			
675			エンディングノートとは	エンディングノート、なんと書く人は入手した人の2%!	2:08	○	○	○			
676			終活分野Aお墓 概論	お墓は持っていても問題がたたくさん!	2:00	○	○	○			
677			終活分野Aお墓Ⅰ納骨堂	細分化される納骨堂事情を解説します。	1:49	○	○	○			
678			終活分野Aお墓Ⅱ樹木葬	首都圏で大人気の散骨と手元供養とは	1:39	○	○	○			
679			終活分野Aお墓Ⅲ寺院墓地	男性に大人気の散骨と手元供養、その注意点。	2:15	○	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職	
680	『終活』のいろは 動画数：30本 合計動画時間：1時間38分12秒	終活【基礎】 動画数9本、合計動画時間数17:25	終活分野Aお墓IV最新お墓事情：改葬	お墓の引越しこと【改葬】とは	2:19	○	○	○	
681			終活分野B葬儀 概論		1:48	○	○	○	
682		終活【発展】 動画数18本、合計動画時間数50:10	終活の時系列一例		2:33	○	○	○	
683			終活分野B葬儀Ⅰ葬儀費用内訳		1:16	○	○	○	
684			終活分野B葬儀Ⅰ葬儀費用内訳/『基本価格』～『備品』		6:49	○	○	○	
685			終活分野B葬儀Ⅰ葬儀費用内訳/『飲食接待費・返礼品』～『お布施』		7:55	○	○	○	
686			終活分野B葬儀Ⅱ家族葬って何？	失敗する家族葬と失敗しない家族葬を比較しましょう。	2:08	○	○	○	
687			葬儀にまつわる誤解・葬儀社選びのコツ		3:43	○	○	○	
688			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ①		2:25	○	○	○	
689			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ②		1:46	○	○	○	
690			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ③		2:40	○	○	○	
691			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ④		2:16	○	○	○	
692			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ⑤		1:55	○	○	○	
693			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ⑥		1:51	○	○	○	
694			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ⑦		2:57	○	○	○	
695			終活分野B葬儀 亡くなってから七七日までの流れ～直葬～		1:46	○	○	○	
696			多死社会に備えて①		3:23	○	○	○	
697			多死社会に備えて②		1:47	○	○	○	
698			イベントに來た方に聞いた葬儀で失敗した事例		1:22	○	○	○	
699			実際に施設様から頂いた案件		1:38	○	○	○	
700		相続遺言の基礎知識 動画数3本、合計動画時間数30:37	相続・遺言を取り巻く環境		14:15	○	○	○	
701			遺言書の作成について		8:04	○	○	○	
702			よくある事例・まとめ		8:18	○	○	○	
703		福祉用具選定（ベッド） 動画数：10本 合計動画時間：53分21秒	ベッド（パラマントベッド提供） 動画数10本、合計動画時間数53:21	ずれを軽減する福祉用具		4:55	○	○	○
704				床ずれが仙骨・尾骨に集中する理由		3:37	○	○	○
705				ベッド使用時のずれ軽減のポイント		1:32	○	○	○
706				ベッドに寝る位置		3:15	○	○	○
707				ベッドの回転中心		2:09	○	○	○
708				スライド機構		4:17	○	○	○
709				骨盤を立てせる（骨盤が立たないことによるリスク）		4:29	○	○	○
710				骨盤を立てせる背上げの原理		12:35	○	○	○
711				ずれを軽減する福祉用具（マットレス・アンカーサポート）		8:05	○	○	○
712	ずれ軽減機能1～3				8:27	○	○	○	
713	中間管理職研修 動画数：19本 合計動画時間：2時間8分57秒	チームケアによる利用者満足創出のポイント 動画数9本、合計動画時間数51:37	食事摂取がうまくいかない利用者について	食事摂取がうまくいかない利用者の要因を挙げられるだけ列挙し、利用者像を把握するとともに、問題や課題に対する解決法を学ぶ。	6:10	○	○	○	
714			自立支援とは①	自立支援に対して、自立とはどのようなものがあるのか。また自立支援の目的や対象者について学ぶ。	4:48	○	○	○	
715			自立支援とは②	さらに身の回りのケア(Care)について考えてみる。	4:41	○	○	○	
716			職員としてすべきこと	ひとりの利用者に対する関係者を洗い出し、その中で自らのすべきことを考える。	3:35	○	○	○	
717			職員としてできること	ひとりの利用者に対する関係者を洗い出し、その中で自らのできることを考える。	0:47	○	○	○	
718			ケアマネジメント・PDCAサイクル①	インテーク(初回面接)からアセスメントの実施、サービス担当者会議を経てサービス計画やサービス提供・モニタリング・フィードバックの一連の流れ(PDCAサイクル)とともに主な担当者を学ぶ。	9:23	○	○	○	
719			ケアマネジメント・PDCAサイクル②	在宅・施設での生活問わず、補助・支援・手助け・介助を必要とすること。その中で、施設での生活については在宅生活の延長であることが望ましいことを学ぶ。	7:19	○	○	○	
720			他者の業務とは～Will・Must・Can	介護職員は看護職員や生活相談員について、看護職員は介護職員や生活相談員について、他者の業務内容について洗い出しチームでの業務の重要性を学ぶ。	8:50	○	○	○	
721			チームケア	自らの業務と他者の業務をリンクさせることで、情報の共有や専門的ケアにつなげることで利用者の自立した生活に結びつける。これらをもって、利用者満足につなげるために必要なことを学ぶ。	6:04	○	○	○	
722			業務の基本について考え 自らを振り返る（目標設定） 動画数3本、合計動画時間数26:53	発想法	日常の業務に対して固定観念を取り除き、常に柔軟な思考でできるようにする。	3:55	○	○	○
723			効果的なOJTの進め方 動画数2本、合計動画時間数17:48	目標管理とは①	目標管理に対して消極的なイメージを持つ職員が多いことを認識する。	10:45	○	○	○
724				目標管理とは②	また目標管理に対する誤解と本来の目標管理に対する理解。	12:13	○	○	○
725			組織の役割と責任の在り方 動画数5本、合計動画時間数32:39	NGワード～職員への言葉がけ	チームで利用者を支援するうえで、NGワードに対する助言から職員の人材育成に役立てる。	4:20	○	○	○
726				自己評価	自らが認識できないことは解決できないことを学ぶ。測定と評価の意味について理解する。	13:28	○	○	○
727	これまでの復習	職員の成長を助ける人・自己評価・目標設定について振り返る。OJTの4つのスキルについて振り返る。		4:29	○	○	○		
728	組織にとって大切なこと①	職員一人ひとりが自律的に生き生きと働く職場風土を創り、日々高めていくことの重要性を学ぶ。		5:05	○	○	○		
729	組織にとって大切なこと②	YOUメッセージとIメッセージを活用する中で、特にIメッセージを多用することが、ポイントであることを学ぶ。6つの具体的アクションとは、どのようなことか。		5:18	○	○	○		
730	組織にとって大切なこと③	組織の定義とともに組織の要件について、5項目を念頭に入れながら日頃の業務に反映できるようにすることが求められていることを理解する。		13:34	○	○	○		
731	組織にとって大切なこと④	組織の定義とともに組織の要件について、5項目を念頭に入れながら日頃の業務に反映できるようにすることが求められていることを理解する。	4:13	○	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職
732	介護事故・ヒヤリハット研修 動画数：10本 合計動画時間：53分21秒	介護事故・ヒヤリハット研修	転倒/立位①	Q1:1人で廊下を歩いている際、ふらつき壁にもたれかかった、Q2:合わない靴(踵を踏んでいる、スリッパなど)や裾が長いズボン履いて歩いている、Q3:シルバーカーを使用しているが、足幅を大きい状態で歩行されている、Q4:シルバーカーで方向転換をする、Q5:シルバーカーのハンドルを手すり代わりに握っている、Q6:シルバーカーなしで自立歩行されている	4:50	○	○	○
733			転倒/立位②	Q7:椅子の背もたれに掴まり立たれている、Q8:手の届きにくい所の物を取ろうとされている、Q9:立ち上がる際カーテンに掴まった、Q10:居室の引き戸に掴まって歩行されている、Q11:食後にトレーを持って食器を運ぶ際に後ろへ方向転換をしようとする、Q12:立ったままの状態に落ちたものを拾おうとされる	4:36	○	○	○
734			転倒/座位	Q13:椅子に座った状態で前屈姿勢の状態手で伸ばし本を取ろうとされている、Q14:車椅子のフットレストの上で立ち上がろうとする、Q15:椅子に座った状態で椅子を持ち上げて方向転換をされようとしている、Q16:テーブルと椅子の距離が狭い所で立ち上がろうとされる、Q17:トイレで排便の際に多量の排便をされる、Q18:座っている前に移動ができるテーブルや折り畳み式のテーブルがあり、手をついて立ち上がろうとされる、Q19:移乗間の距離が離れている状態でトランスファの介助をする、Q20:椅子に座っている状態で前にあるテーブルの端に手で押さずとされている	6:21	○	○	○
735			転落/車椅子	Q21:リクライニング車椅子等で、アームレストを下げたまま移動、Q22:車椅子に浅く座っている、Q23:レッグレスト無しでの移動介助、Q24:物を拾おうとしている。(プレーキがかかっていない)、Q25:落ち着きなく、体をもそもそしている	3:45	○	○	○
736			転倒/ベッド	Q26:タンスの上の方のものを取ろうとしている、Q27:車椅子の座面の高さよりも高い位置でのベッドへの移乗介助、Q28:ベッドから足が出た状態で寝ている、Q29:セミファーラーでの状態で寝ている	3:24	○	○	○
737			薬に関する事故/誤与薬・落薬	Q30:食事未摂取でのDM薬と薬、Q31:薬の種類を確認せずに取り出す、Q32:服薬後に口に手をやり、口の中から何か取り出すようにしている、Q33:手の平の上に複数の錠剤を乗せている	3:32	○	○	○
738			外傷/外傷・痣	Q33:手引き歩行で介助者が入居者の手首をつかんでいる、Q34:同じ臥位で眠っている、Q35:片麻痺の入居者の移乗介助時、患側を軸に回転する、Q36:痒みがあり掻いている、Q37:自分で寝返りをうとうとする、Q38:ベッド欄が近い状態で、介護者が体位変換を行う。	5:07	○	○	○
739			誤嚥・誤飲	Q39:台所で洗剤に手を伸ばしている、Q40:漂白中のコップを見ている、Q41:ポットを洗浄している、Q42:嚥下不良な入居者が固形物を食べる、Q43:他人居者に食べさせようとする、Q44:食事介助で飲み込み確認せず早く入れる、Q45:食事中にむせた様な咳込みがある	3:33	○	○	○
740			異食	Q46:手の届くところにティッシュがある、Q47:ご家族がビーズタイプの芳香剤を用意する、Q48:ご自身の食事が済み、他の入居者の食事を見ている	2:20	○	○	○
741			火傷・熱傷	Q49:髪にドライヤーを介助者があてている、Q50:とろみ剤をいれたお茶を吸い飲みに入れ介助で飲んで頂く、Q51:熱いまま飲み物を出す、Q52:シャワーヘッドの下の方を持ってお湯をかける、Q53:浴槽に入ろうとしている	3:13	○	○	○
742			急変	Q54:朝の起床時に嘔気を伴う、めまい、ふらつきがある、Q55:他の入居者へお菓子を配っている、Q56:椅子上で体の弛緩、顔面蒼白、意識なし、Q57:声掛けに対し、返答が鈍い、視点が合わない、Q58:顔が赤く呼吸が荒い	4:15	○	○	○
743			利用者間トラブル/単独外出	Q59:入居者が他の入居者を見て嫌な表情をしている、Q60:他人居者の居室へ入ろうとしている、Q61:窓の方を見ている、Q62:出口を探している	3:33	○	○	○
744			ケアマネジャー受験対策 動画数：60本 合計動画時間：3時間59分37秒	平成28年度過去問解説 介護支援分野	H28試験対策 問1解説	過去問解説	2:57	○
745	H28試験対策 問2解説	過去問解説			3:31	○	○	
746	H28試験対策 問3解説	過去問解説			2:30	○	○	
747	H28試験対策 問4解説	過去問解説			3:05	○	○	
748	H28試験対策 問5解説	過去問解説			3:06	○	○	
749	H28試験対策 問6解説	過去問解説			4:06	○	○	
750	H28試験対策 問7解説	過去問解説			3:20	○	○	
751	H28試験対策 問8解説	過去問解説			2:44	○	○	
752	H28試験対策 問9解説	過去問解説			2:51	○	○	
753	H28試験対策 問10解説	過去問解説			3:34	○	○	
754	H28試験対策 問11解説	過去問解説			2:14	○	○	
755	H28試験対策 問12解説	過去問解説			4:04	○	○	
756	H28試験対策 問13解説	過去問解説			4:22	○	○	
757	H28試験対策 問14解説	過去問解説			2:47	○	○	
758	H28試験対策 問15解説	過去問解説			3:25	○	○	
759	H28試験対策 問16解説	過去問解説			2:57	○	○	
760	H28試験対策 問17解説	過去問解説			2:03	○	○	
761	H28試験対策 問18解説	過去問解説			2:28	○	○	
762	H28試験対策 問19解説	過去問解説			3:33	○	○	
763	H28試験対策 問20解説	過去問解説			2:39	○	○	
764	H28試験対策 問21解説	過去問解説	3:29	○	○			
765	H28試験対策 問22解説	過去問解説	4:22	○	○			
766	H28試験対策 問23解説	過去問解説	3:12	○	○			
767	H28試験対策 問24解説	過去問解説	3:57	○	○			
768	H28試験対策 問25解説	過去問解説	3:44	○	○			

No	研修コンテンツ名	中項目	動画コンテンツ	コンテンツ概要	動画時間	新人	ベテラン	管理職
769	ケアマネジャー受験対策 動画数：60本 合計動画時間：3時間59分37秒	平成28年度過去問解説 保険医療サービス分野 動画数20本、合計動画時間数88:17	H28 試験対策 問26解説	過去問解説	4:30	○	○	
770			H28 試験対策 問27解説	過去問解説	3:48	○	○	
771			H28 試験対策 問28解説	過去問解説	5:18	○	○	
772			H28 試験対策 問29解説	過去問解説	5:25	○	○	
773			H28 試験対策 問30解説	過去問解説	3:40	○	○	
774			H28 試験対策 問31解説	過去問解説	3:49	○	○	
775			H28 試験対策 問32解説	過去問解説	4:53	○	○	
776			H28 試験対策 問33解説	過去問解説	3:56	○	○	
777			H28 試験対策 問34解説	過去問解説	4:22	○	○	
778			H28 試験対策 問35解説	過去問解説	4:22	○	○	
779			H28 試験対策 問36解説	過去問解説	4:37	○	○	
780			H28 試験対策 問37解説	過去問解説	3:24	○	○	
781			H28 試験対策 問38解説	過去問解説	3:31	○	○	
782			H28 試験対策 問39解説	過去問解説	3:33	○	○	
783			H28 試験対策 問40解説	過去問解説	4:31	○	○	
784			H28 試験対策 問41解説	過去問解説	3:50	○	○	
785			H28 試験対策 問42解説	過去問解説	4:46	○	○	
786			H28 試験対策 問43解説	過去問解説	5:28	○	○	
787			H28 試験対策 問44解説	過去問解説	5:03	○	○	
788			H28 試験対策 問45解説	過去問解説	5:31	○	○	
789		H28 試験対策 問46解説	過去問解説	3:51	○	○		
790		H28 試験対策 問47解説	過去問解説	3:43	○	○		
791		H28 試験対策 問48解説	過去問解説	4:38	○	○		
792		H28 試験対策 問49解説	過去問解説	4:43	○	○		
793		H28 試験対策 問50解説	過去問解説	5:46	○	○		
794		H28 試験対策 問51解説	過去問解説	4:16	○	○		
795		H28 試験対策 問52解説	過去問解説	4:29	○	○		
796		H28 試験対策 問53解説	過去問解説	4:33	○	○		
797		H28 試験対策 問54解説	過去問解説	4:13	○	○		
798		H28 試験対策 問55解説	過去問解説	4:34	○	○		
799		H28 試験対策 問56解説	過去問解説	4:53	○	○		
800		H28 試験対策 問57解説	過去問解説	5:04	○	○		
801		H28 試験対策 問58解説	過去問解説	5:34	○	○		
802		H28 試験対策 問59解説	過去問解説	4:20	○	○		
803		H28 試験対策 問60解説	過去問解説	5:43	○	○		
		平成28年度過去問解説 福祉サービス分野 動画数15本、合計動画時間数70:20						